

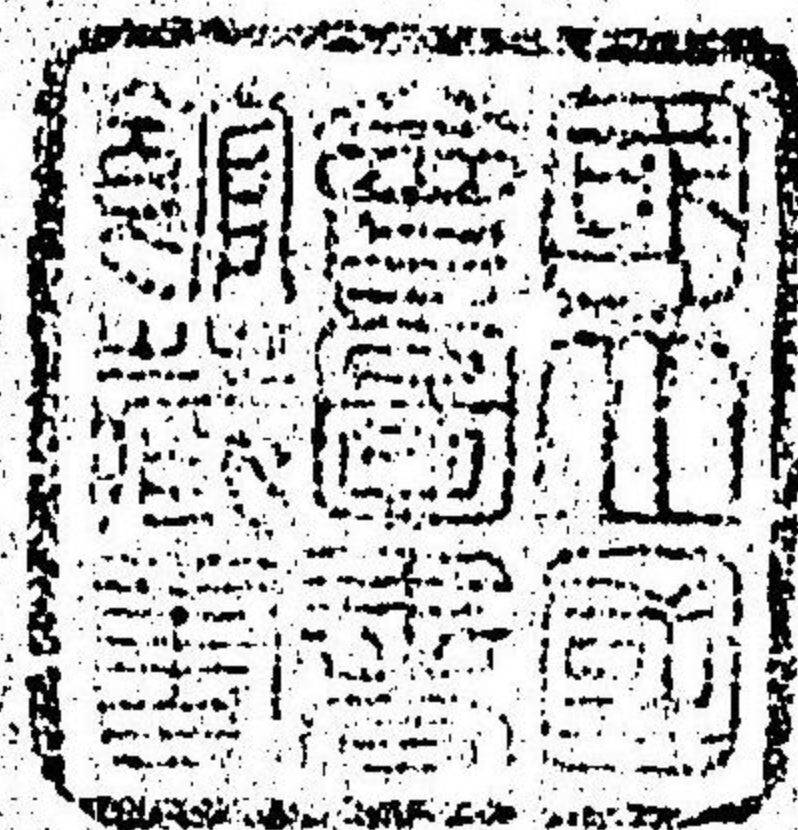
伊豆知自公著

沖繩上心

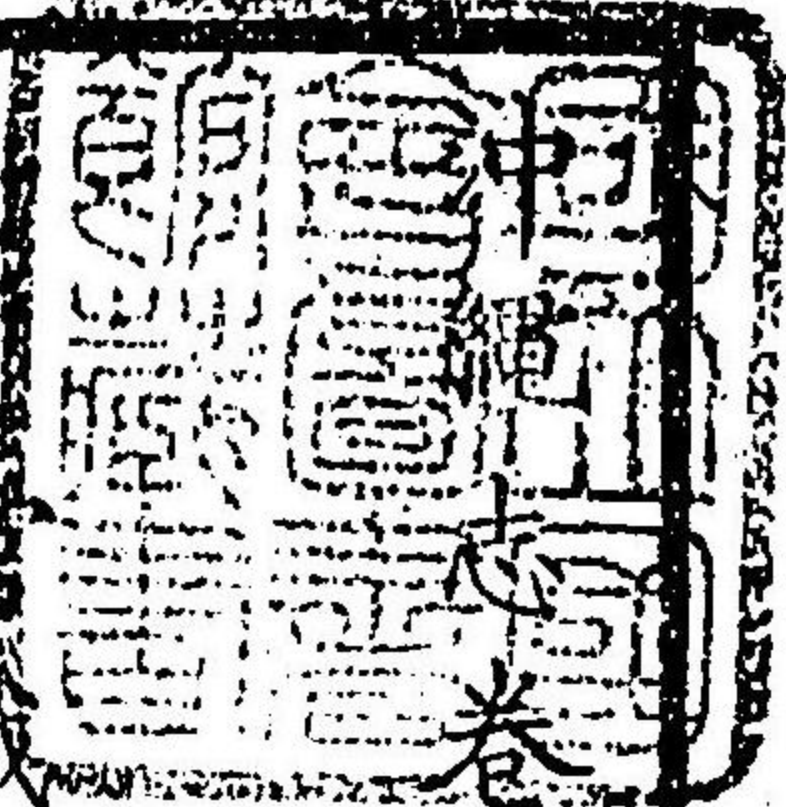
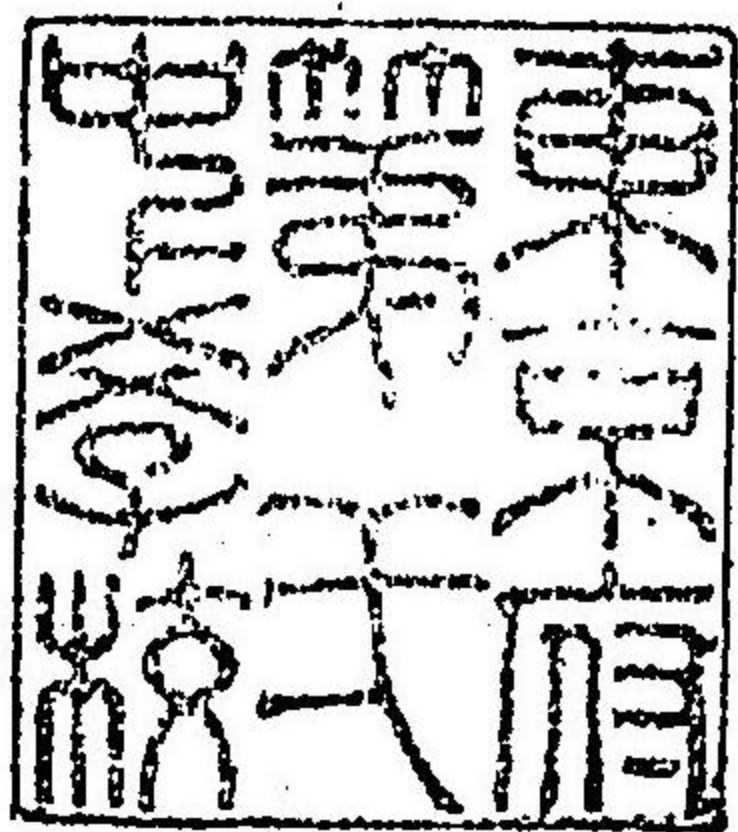
一名琉球志

291.99

19860



209949



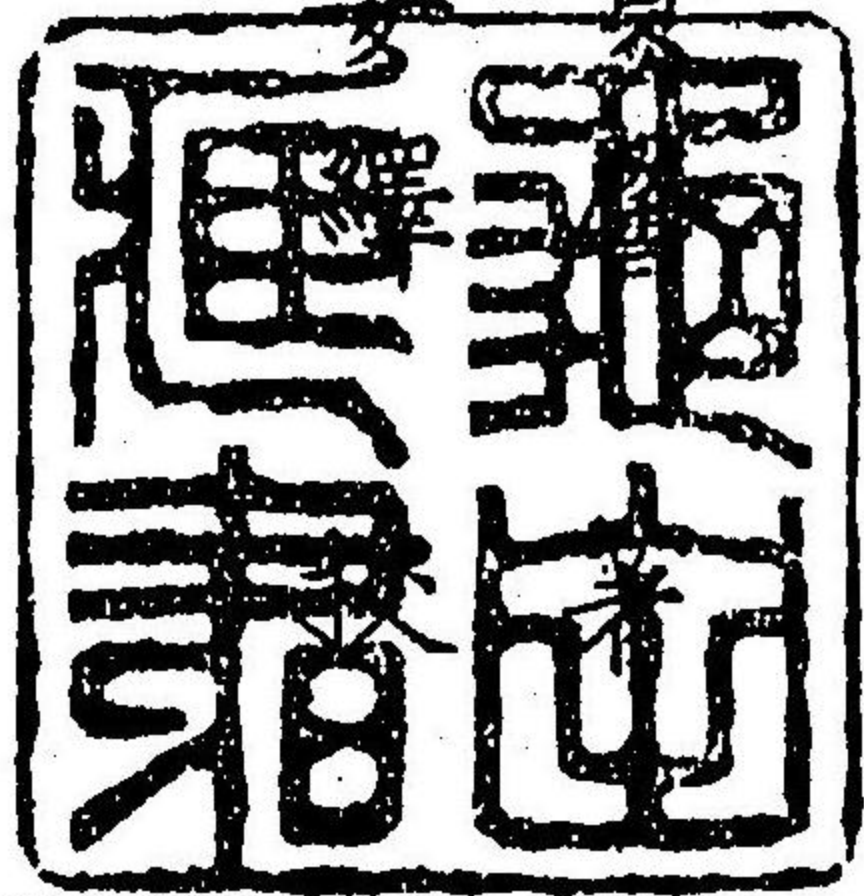
二

官職志

官職部

薩摩

伊地知 貞
重野 安



評定所

庶務ヲ總裁處分ス乃チ政府ナリ

物奉行所

分テ三トス

所帶方

會計一切ノ事及ヒ各間切諸島ノ産物出納

中電志

卷二

一

有恒齋藏板

ノ事ヲ掌ル

給地方

知行高役知及ヒ旅費米錢出納ノ事ヲ掌ル
用意方

非常臨時ノ用度及ヒ山川堤防豫備等ノ事
ヲ掌ル

申口方

鎖之側雙紙庫理泊地頭三局ノ総稱ナリ他國
ノ照會内外官ノ監督及ヒ賞罰ヲ擬定スル等
ノ事ヲ掌ル

書院方

公事ノ禮式ヲ掌ル

近習方

藩王朝夕ノ諸用ヲ辨理スルヲ掌ル

下庫理

諸規則及ヒ城中ノ監督ヲ掌ル

系圖座

系譜編輯ヲ掌ル

大與座

生死ノ申告及ヒ戸籍検査ノ事ヲ掌ル

総横目方

風俗ヲ糾シ非違ヲ觀察スルヲ掌ル

寺社座

社寺ノ事ヲ掌ル

用物座

内地及ヒ清國ノ貢品調度ノ事ヲ掌ル

納殿

藥種類ノ出入及ヒ近習諸用ヲ辨理スルヲ掌ル

蘇鐵植付方

鐵蕉播殖ノ事ヲ掌ル

厩役

官馬ノ畜養ヲ掌ル

錢藏

官錢ノ出納ヲ掌ル

料理座

年中ノ禮式使者及ヒ駐劄官負ノ饗宴等ニ飲

食調理ノ事ヲ掌ル

大臺所

後房朝夕ノ事ヲ辨理スルヲ掌ル

右諸官署首里城内ニ在リ
平等方

刑罰ヲ處分シ訴訟ヲ裁決スルヲ掌ル罪ヲ犯
ス者アレハ筑佐事ヲ遣シテ逮捕ス

高所

藩庫收入ノ石高ヲ主管シ及ヒ内地清國へ航
渡ノ諸船ヲ辨理スルヲ掌ル

田地方

各間切ノ耕作ヲ勸督スルヲ掌ル

勘定座

諸官署出納計筭ノ事ヲ掌ル
山奉行所

山林ノ事ヲ掌ル

收納座

年貢諸收入物品ヲ出納スルヲ掌ル

普請奉行所

官解社寺管繕ノ事ヲ掌ル

小細工奉行所

官服裁縫器具製造ノ事ヲ掌ル

尾奉行所

屋瓦磁器陶造ノ事ヲ掌ル

貝搨奉行所

諸器髹漆等ノ事ヲ掌ル

鍛冶奉行所

銅鐵諸器鍛冶ノ事ヲ掌ル

米藏方

米穀ノ出納ヲ掌ル

座檢者方

各局ノ米錢諸品ヲ點檢スルヲ掌ル

垂櫃方

植櫃製蠟ノ事ヲ掌ル

右諸局首里城外ニ在リ

紙座

製紙ノ事ヲ掌ル

砂糖藏

收買砂糖ヲ出納スルヲ掌ル

船手藏

官船ヲ造繕シ及ヒ船具ヲ出納スルヲ掌ル

仕上世座

内地貢納等ノ事ヲ辦理スルヲ掌ル

209949

給地藏

諸役知給知米ノ出納ヲ掌ル

宮古藏

宮古八重山ノ貢物ヲ出納スルヲ掌ル

用意藏

臨時支用ノ物品ヲ出納スルヲ掌ル

里主所

那覇ノ事ヲ處分スルヲ掌ル

親見世

那覇ノ諸用ヲ辨理スルヲ掌ル

惣長史方

右諸局那覇ニ在リ

清國ノ事務ヲ辨理シ及ヒ久米村ノ事ヲ處分
スルヲ掌ル

頭取方

泊村ノ事ヲ處分スルヲ掌ル

番所

各間切ニ番所ヲ置ク下知役檢者地頭代以下
交番在役ニ農務山方風俗監督等ノ事ヲ議シ
年貢上納等ヲ催督ス

神州藏版

政府官員

評定所

攝政一人 王子之ニ任ス其人無レハ按司家ヨリ撰任シ其身一世王子ノ格位ヲ授ク

諸般事務ヲ惣轄ス

三司官三人

一人ハ給地方及ヒ諸山ノ事ヲ主任ス

一人ハ用意方及ヒ諸川ノ事ヲ主任ス

此二人每一月輪番シ一切ノ事ヲ擔任ス

一人ハ所帶方及ヒ諸間切諸島ノ事ヲ主任ス

但三人各主任アリト雖モ庶事協議ヲ經

テ攝政ニ申稟シ決テ藩王ニ取ル

三司官ハ藩王自ラ其人ヲ撰ムヲ得ス諸官

投票擬定スルヲ以テ法トス

以上奏任官トス攝政ハ準四等三司官ハ

準六等ナリ其任免ハ藩王奏聞シテ宣下

アリ

筆者主取一人

筆者六人

物奉行所

物奉行三人

吟味役三人

二官各一員ヲ以テ三事ヲ分掌ス一ハ藏方

ノ收納物及ヒ諸島年貢等ノ事一ハ給地方

ノ石高計筭及ヒ船手一切ノ事一ハ用意方

ノ砂糖及ヒ山川堤防ノ事ヲ掌ル

申口方

鎖之側一人

日帳主取二人

系圖座及ヒ航清船舶ノ點檢解舟ノ載貨那

霸久米村諸島更番官吏ノ進止駐劄官負交

際國中ノ禮式風俗監督等ノ事ヲ掌ル

雙紙庫理一人

吟味役一人

内官諸局ヲ監督之及ヒ地頭所知行褒賞等

ノ事ヲ掌ル

泊地頭一人

吟味役一人

外官諸局ヲ監督シ及ヒ泊村ノ事ヲ處分ス

ルヲ掌ル

平等方

平等之側一人

吟味役二人

職掌前ニ在リ

右攝政ヨリ以下政府要路ノ官トス

間切官負

地頭一人

夫地頭一人

首里大屋子一人

大掟一人

南風掟一人

西掟一人

掟人負不定

右各間切ニ在リ地頭以下大屋子ニ至ル首里ヨリ更番シ大掟以下ハ土人ヲ撰用ス

宮古八重山官負

在番一人

筆者二人

頭三人

首里大屋子宮古五人八重山三人

與人宮古二十四人八重山八

大目差一人

大筆者一人

脇目差一人

脇筆者人負不定

目差宮古三十二人八重山二十九人

右在番以下大屋子ニ至ル首里ヨリ更番シ與人以下ハ土人ヲ撰用ス

以上政府要路ノ官及ヒ各間切ニ島ノ長官
ハ必ス首里ノ門閥之ニ任シ平民ヨリ登庸
スルヲ無シ

赴任官負

東京

親方一人

附屬五人

從者十五六人

右親方以下每一年ニ交代ス新年紀元天
長ノ三祝日ハ在勤長官参内シテ藩王ノ

賀表ヲ進奉ス

大坂

物奉行所屬吏二人

從者二三人

右每一年ニ交代シ貢納及ヒ庶務ヲ辦理
ス

鹿兒島

物奉行所屬吏三四人

從者六七十人

慶長役以來館ヲ鹿兒島府下ニ設ケ親方

以下數名更番在勤ス直管ト為リシヨリ
藏屋敷ト改稱シ物奉行所ノ屬吏毎一年
ニ交代シ蕃用ノ諸物品ヲ辨備ス

清國福建

進貢ノ時官吏ヲ派出スト雖モ赴任ニ非
ス因テ其人負等之ヲ貢獻志ニ附記ス

位階部

王子

藩王ノ叔父
及王子弟

正一品

按司

王族

從一品

親方

正從二品

三司官ニ任スル者功
ヲ積テ一品ニ至ル

親雲上

從六品ヨリ正三品ニ至ル

里之子親雲上

正七品

筑登之親雲上

從七品

里之子

正八品

若里之子

從八品

筑登之

正九品

筑登之座敷

從九品

仁屋

無品

平民

冠服部

冠帶

王子

帽紫綾五色花。簪金。袍紅。帶錦花。

按司

帽紫綾。簪金。袍綠。帶錦。

三司官

帽紫綾。簪金。袍深青。帶黃地蟠龍。功勞ヲ以テ。帽

紫綾五色花ニ至ル者アリ。

親方

帽紫綾。簪金花銀莖。袍深青。帶黃地蟠龍。

親雲上

帽黃綾若クハ黃絹。簪銀。帶黃地蟠龍ヨリ。雜色

花ニ至ル。

里之子親雲上ヨリ里之子ニ至ルマテ

帽黃絹。簪銀。帶雜色花。

筑登之筑登之座敷

帽大紅絹紗。簪銀。帶雜色花。

平民

帽無シ簪ハ真鍮ヲ用フ功勞アル者ハ銀簪ヲ

許ス

婦人ノ簪制略男子ニ同シ平民ノ婦人ハ玳瑁ヲ用フ

服

王子

禮式ノ時冬ハ綸子紗綾縮緬類夏ハ京蘭黃細上布

按司三司官親方

冬ハ紗綾縮緬夏ハ京蘭黃細上布

諸士

冬ハ棉布夏ハ芭蕉布在官者禮式ノ時冬ハ絹

布夏ハ京蘭黃細上布

平民

冬ハ棉服夏ハ芭蕉布絹布ヲ用ルヲ得ス

秩祿部

攝政

官祿合テ草高六百石二世三世マテ家祿三百石四世以下遞減シテ百五十石百石八十石四十石ニ至ル其人功勞アレハ祿ヲ増ス

王子

家祿三百石二世二百石三世以下遞減シテ

百五十石百石八十石四十石ニ至ル切勞ア
レハ禄ヲ増ス

攝政王子二世ヨリ按司家トナル

三司官

官禄合テ草高四百石二世三世マテ家禄八
家禄十石四世以下遞減シテ四十石三十石二十
石十五石ニ至ル

親方班申口役

官禄草高四十石家禄少キ者ハ二世三世マ
テ三十石四世以下遞減シテ二十石十五石

ニ至ル

以下官階ノ崇庠ニ從フテ俸ヲ給ス其俸草高三
十石ヨリ現米一石左右ニ至ル

凡ソ官進メハ諸間切ノ地頭脇地頭ヲ命ス其地
ニ職田アリ土人之ヲ耕作シ四公六民ノ率ヲ以
テ地頭ニ納ム

無禄ノ士半ニ居ル力役ヲ以テ朝夕ヲ營ム

貢獻志

延喜式ニ曰ク太宰府南島ヲ管シ方物ハ赤木
 ナ貢ス其數ハ得ルニ隨フ
 南島志ニ曰ク琉球赤木ヲ産ス其性堅緩紫紅
 色白理アリ蓋シ欄木ノ類本朝式ニ所謂南島
 貢スル所ノ赤水是ナリ

按スルニ南島人ノ朝貢書史ニ見ユル者推
 古天皇ノ朝ニ始リ天平勝寶ノ比ニ終ル天
 平勝寶ヨリ延喜ニ至ル凡ソ百六十七年南
 島ノ朝貢絶サルヲ線ノ如シ式中貢物ヲ載

スル赤木一品ノ蓋シ琉球隋ニ絶テ隨テ
 我ニ遠カル此ニ於テカ教化及ハス暴行禁
 ナク盜賊給テ取ル故ニ僧空海書シテ虎性
 トシ三善清行人ヲ喫フトシ遂ニ鬼界ト稱
 スルニ至ル舜天王中興國內始テ安シ然レ
 氏未夕職貢ヲ修ムルニ及ハス爾後彼レ自
 ラ明清ニ通シ世世其封爵ヲ受ク慶長役以
 來職貢舊ニ復スト雖モ猶其清國ニ通スル
 ヲ禁セス故ニ世琉球ヲ以テ兩屬ノ國ト為
 ス之ヲ要スルニ琉球ハ叢爾タル小國ト雖

モ頗ル自主ノ國體ヲ備フ是ヲ以テ本朝中
 古以降ノ史南島ノ朝貢ヲ紀スル三韓肅慎
 ノ入貢ト略同例ニシテ外國ヲ以テ之ヲ待
 テ其朝聘貢獻ヲ以テ務メテ世ノ耳目ヲ眩
 耀シ史冊ノ光烈ヲ取ル者和漢同揆ナリ今
 其事實ニ就キ内地及ヒ清國貢獻ノ節目ヲ
 叙スル左ノ如シ

東京

貢納八千二百石

年年代價ヲ以テ租稅寮ニ納ム薩藩所轄ノ時

八租納八千六百餘石其内三千六百八十石ハ
 黒砂糖九十七万斤ヲ以テ代納ス直管ト為リ
 シヨリ糖納ヲ廢シ四百餘石ヲ減シ定メテ本
 條ノ數ト為ス

新年天長節進献物品

紺地縞細上布十端 紺縞細上布十端 練芭
 蕉布十端 太平布十四

節日ニ當リ在勤長官參内ニテ之ヲ進奉ス
 明治九年西節ノ進献ヲ廢セラレ藩王王子
 上京參内ノ日ハ方物ヲ献シ其歸ルニ臨ミ

各賜品アリ其數ハ進献ノ多寡ニ從フ維新
 前ハ國王ノ嗣立及ヒ將軍家ノ継統ニ王子
 ヲ江戸ニ遣シ太刀馬代緞子縞珍羅紗紗綾
 紅白縮緬上布太平布芭蕉布漆器焼酎ノ類
 ヲ呈ス幕府モ亦王及ヒ使者ニ物品ヲ賜與
 シ以テ例ト為ス薩藩ハ八租納ノ外毎夏ニ
 土宜ヲ呈シ藩主ヨリモ答報アリ數百年ノ
 恩義アルニヨリ今日ニ至リ時時島津氏ノ
 起居ヲ訪ヒ互ニ贈答アリ

清國

琉球ノ清國ニ通スル遞年ニ進貢接貢二船
 ヲ發遣シ今年霜降立冬ノ際開洋 藩王嗣立
 ノ時冊封謝恩使ヲ遣シ清帝即位ニ賀慶使
 ヲ遣ス其進貢船ハ二隻接貢船ハ一隻進貢
 官員進貢使一人大夫一人才府一人大通事
 二人北京通事一人官舍三人脇通事二人存
 留脇通事一人北京大筆者一人大筆者一人
 脇通事二人總官二人與力一人儀者一人隨
 陪及ヒ船方百八十人總計二百人接貢人負
 總計八十九人往來共ニ福建ニ由リ行館ヲ

其地ニ建ツ進貢ノ時才府大通事官舍大筆
 者總官各二人脇通事存留通事各一人共計
 十四人接貢ハ其半ヲ減シ今秋ヨリ翌夏マ
 テ在留シテ存留脇通事進貢諸用ヲ辦シ且
 貿易ヲ為ス其北京ニ至ル者ハ進貢使大夫
 北京大通事北京大筆者與力儀者各一人隨
 陪六人謝恩使出京人負三十人賀慶使ハ二
 十五人

進貢使ノ貢物接貢ハ貢物ナシ

硫磺一万二千六百斤 銅三千斤 錫千斤

冊封謝恩使ノ時

皇帝へ

金鶴一對 銀ノ岩形臺 具足一領 金拵刀二腰 銀

拵刀二腰 刀二十本 鎗十本 長刀十本

馬具一揃 金屏風二雙 金扇子百本 銀扇

子二百本 金砂子扇子二百本 綿子二百把

白練蕉布三百端 白細上布百端 銅五百斤

錫五百斤

賀慶使ノ時

皇帝へ

金壺一對 銀壺一對 金丸拔太刀二腰 銀

丸拔太刀二腰 三葉布百端 練細蕉布百端

金屏風一雙 扇子二百本 形紙五千枚 銅

五百斤 錫五百斤

皇后へ

金匣一對 銀匣一對 三葉布四十端 練細

蕉布四十端 扇子八十本

先帝へ

進貢銀百兩

清帝手筆ヲ賜ヒシ時

金鶴一對 銀、岩形蓋 貝摺茶碗三東 附蓋 貝摺茶盆

三束 花織練蕉布五十端 練蕉布五十端

金屏風一雙 形紙五千枚 中奉書紙五千枚

扇子二百本

進貢、時清帝賜品

藩王、

錦八匹 字緞子八匹 粧閃緞子八匹 圓金

八匹 紗十二匹 五絲緞子十八匹 羅十八

匹

進貢使及七大夫、

圓金三匹宛 五絲緞子八匹宛 羅五匹宛

繭五匹宛 紡絲二匹宛 布一匹宛

才府、

五絲純子五匹 羅五匹 繭五匹

北京大通事、

五絲純子五匹 羅五匹 繭三匹

北京大筆者以下從者十五人、

繭三匹宛 布八匹宛

存留及七福建滯在、從者十七人、

彭緞袍一枚宛

加賜品

藩王、

蟒緞二匹 大小絹箋四卷 福字方百幅 筆
四匣 墨四匣 硯二面 彫漆器四品 玻璃
器四品

進貢使及七大夫北京大通事、

細皮袍一枚宛 細棉襖一枚宛 細綿褲一雙
宛 細棉腿褲一雙宛 皮領一宛 皮帽子一
宛 絲帶一宛 襪一雙宛 緞靴一雙宛

北京大筆者以下從者十五人、

細羊皮袍一枚宛 細棉褲一宛 布綿腿褲一
宛 皮領一宛 皮帽子一宛 絲帶一筋宛
布褲一雙宛 布靴一雙宛

進貢使、

蟒緞三匹 漳絨三匹 江細四 大荷包二
小荷包四 大緞一匹 箋紙一匹 筆二匣
墨二匣

大夫、

蟒緞二匹 漳絨二匹 江細三 大荷包二
小荷包四 大緞一匹 箋紙二卷 筆二匣

海國圖志

有惟齋藏版

墨二匣

清帝手筆ヲ賜ヒシ謝恩使ノ時

賜品前條ニ同シ

賀慶使ノ時

藩王ハ

錦八匹 蟒緞八匹 蟒紗四匹 蟒欄紗四匹

羅緞八匹 紗十二匹 緞十八匹 花紡絲十

八匹

王舅ハ

蟒緞五匹 羅緞三匹 緞八匹 花紡絲七匹

綿綢五匹 布一匹

大夫ハ

羅緞三匹 緞八匹 花紡絲七匹 綿綢五匹

布一匹

勢頭及ヒ北京大通事王舅通事ハ

純子五匹宛 花紡絲五匹宛 綿紡絲三匹宛

綿綢三匹宛 布八匹宛

福建在留ノ從者十四人ハ

彭緞一枚宛

加賜品

藩王

玉器十品 瑤瑯器十六品 各色八絲緞子二十匹 磁器百四十品 玻璃器十品 硯二面 瑤瑯爐瓶盆一組

王舅

大卷八絲緞子四卷 錦三匹 漳絨三卷 大卷五絲純子四匹 大荷包二 小荷包四 緞子八匹 十分銀一貫目

大夫

大卷八絲緞子三匹 錦二匹 漳絨二卷 大

卷五絲純子三匹 大荷包二 小荷包二

勢頭及北京大通事

五絲緞子四匹宛 十分銀三百目宛

王舅通事大夫通事

綢羊皮袍一枚宛 綢棉襖一枚宛 綢棉袴一枚宛 綢棉襪一雙宛 緞靴一雙宛 絲帶一筋宛 皮帽子一宛 皮領一筋宛 布帶一筋宛 布襪一雙宛

物産志

物産部

以	植	團	薯	ヲ	之	万	千	十	三	石	○	米
テ	子	類	春	ヲ	斤	五	石	百	○	青	二	九
上	別	等	二	碎	催	百	五	真	豆	千	三	
布	ニ	ヲ	混	シ	督	○	○	黍	十	九	石	万
水	種	製	和	水	シ	鐵	鹽	十	九	石	二	○
綿	ヲ	ス	シ	漉	以	蕉	五	九	石	四	○	大
絨	蒔	テ	シ	テ	必	山	十	一	○	唐	小	
ナ	ク	○	テ	凶	ス	頭	石	万	黍	豆	千	九
染	一	藍	粉	荒	蘇	海	○	石	九	百	九	千
△	ナ	四	枝	ト	=	鐵	濱	黑	百	石	三	石
色	シ	時	葉	ナ	備	ヲ	路	砂	○	○	○	
深	家	茂	肥	シ	フ	植	傍	糖	菜	豌	粟	
碧	家	生	大	稀	樹	ニ	耕	万	九	種	豆	千
愛	自	常	内	粥	心	主	ス	斤	五	十	九	石
ス	ラ	=	地	=	ヲ	務	可	余	百	石	百	石
ハ	藍	其	ノ	扱	水	ノ	ラ	○	五	○	大	
シ	靛	枝	産	シ	=	官	サ	蕃	○	扁	豆	
精	ヲ	葉	ト	或	漬	アル	薯	胡	豆	四	九	
製	製	ヲ	異	ハ	シ	リ	ノ	億	九	十	九	百
ス	シ	挿	リ	蕃	之	テ	地	三	一	千	九	石

中... 卷二 二十四 有恒齋藏

牛	ル	首	絲	斤	十	油	入	ス	渡	用	=	=	根	間	靑	レ
○	十	里	○	○	百	斤	ナ	内	名	ヒ	九	川	ナ	切	黛	ハ
馬	七	那	炭	亦	斤	千	仰	地	喜	シ	ソ	リ	剗	等	=	印
○	八	霸	○	力	五	夕	ノ	計	者	ハ	獲	リ	テ	リ	ラ	度
野	里	ナ	薪	油	○	輸	羅	ハ	獲	ス	一	更	ニ	致	○	産
羊	距	運	以	十	桐	○	間	箕	セ	○	年	之	ス	陸	○	ノ
○		輸	上	斤	油	菜	島	ニ	伊	○	鬱	金	植	田	上	○
豚		ス	二	○	斤	種	産	江	○	三	斤	三	時	工	布	○
○		其	品	山	○	油	ス	九	○	四	○	○	○	○	九	○
猪		值	首	茶	柴	油	亦	千	○	千	斤	○	○	○	○	○
○		ヒ	里	油	油	斤	輸	斤	○	○	○	○	○	○	○	○
鹿		内	那	斤	斤	百	入	ナ	○	○	○	○	○	○	○	○
○		地	霸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
猫		ヨ	ハ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○		リ	總	紅	藍	花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
犬		貴	テ	山	原	○	芭	蕉	○	○	○	○	○	○	○	○
		シ	山	原	ヨ	リ										
		ハ	リ													

鷄 ○家鳧 ○小禽 ○雉 ○鷹隼 ○鷗鷺

鴻雁來ラス鶴ヲ見ス首里那霸ノ近郡鳶鴉棲

蚊	○	蠅	○	蝻	○	蝸	○	蛇	○	蝮	○	飯	○	情	○	者	○	長	○	蠍	○	然	○	レ	棲	○	ヒ	○	畫	○	夜
害	セ	○	蝻	蝸	○	蝮	○	蛇	○	蝮	○	飯	○	情	○	者	○	長	○	蠍	○	然	○	レ	棲	○	ヒ	○	畫	○	夜
出	テ	涼	テ	全	身	斑	點	根	樹	上	大	ニ	シ	テ	平	圓	春	暖	ニ												
色	ニ	シ	テ	全	身	斑	點	根	樹	上	大	ニ	シ	テ	平	圓	春	暖	ニ												
死	ス	者	以	行	人	ヲ	擊	ツ	毒	氣	齒	多	ク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ル	金	飯	者	ア	テ	死	ニ	至	者	形	小	モ	シ	テ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
甚	シ	永	ハ	必	喜	死	ス	ル	者	形	小	モ	シ	テ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
觸	ル	者	ハ	必	喜	死	ス	ル	者	形	小	モ	シ	テ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高	飯	永	ハ	必	喜	死	ス	ル	者	形	小	モ	シ	テ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鯉	○	鮒	○	鰻	○	鼈	○	鯰	○	泥	○	鰭	○																		

キ ○梯梧一名木華 ○布久呂木 ○屋良部漢名未詳 ○石竹

○水蘭 ○木芙蓉 ○桂蘭 ○瑞聖花 ○佛衆 ○黃胡

蝶 ○計羅間躑躅 ○躑躅 ○月橘

孟宗竹 ○苦竹 ○虎斑竹 ○金竹 ○唐金竹

芭蕉 三種アリ其種各異ナリ一ハ實ヲ食ヒ一ハ花ヲ愛シ一ハ樹心ヲ取り蕉布ヲ織ル ○

朱蕉 ○へゴ ○萬年青 ○紫才モト ○美人蕉 ○長

春花 ○釵子股 ○名護蘭 ○入面蘭 ○霸王樹 ○宮

人草 ○望江南 ○日日草 ○午時花 ○菓子荻 ○

春秋菊 ○菊 ○脚線 ○杜鵑花 ○金錢花 ○寶相花

○野薔薇 ○蓮 ○水仙 ○藤 ○夜來香 ○葵 ○燕子

花 ○菖蒲 ○百合 ○鷄冠 ○雁來紅 ○阿旦

草木ハ内地ニ於テ未タ見サル者十ノ五ニ居

ル

落花生方言稱ス ○防風 ○大根 ○黄大根 ○午房

○カヤ芋 ○薯蕷一塊重サ十斤 ○田芋 ○葱クワイ ○

ツルノユ ○蕪青 ○蓮根 ○薑 ○蒜 ○葱 ○韭 ○薤

○冬葱 ○玉蕪 ○麥草 ○蒺藜菜 ○唐菜 ○ハンタ

マ ○蕪菜 ○寒山菜 ○ウイキヨウ ○ヒー菜 ○欸

冬 ○藜 ○蕨 ○味噌菜 ○唐モシ ○田モシ ○青瓜

○糸瓜 ○苦瓜 ○冬瓜 ○南瓜 ○キン瓜 ○ツフル

○刀豆 ○茄子 ○瓢箪 味美ニシテ ○番椒 終年凋落セス
四時花ヲ結フ樹圍數寸ナルモノアリ ○耳割 耳割
荔枝 樹圍尺ニ餘 ○龍眼 ○橄欖 ○柿 ○桃 ○楊梅
○芭蕉實 ○柘榴 ○蕃石榴 ○橙 ○香橙 ○金柑 ○
密柑 酸味多シテ食テ味可ラス ○枇杷 味小ニシ ○蒲桃 ○アマ
キ
知母 ○素白皮 ○天門冬 ○香梔子 ○小茴香 ○綿
柏葉 ○天南星 ○青蒿葉 ○蓼 ○百部 ○乾姜 ○桔
梗 ○忍冬 ○紫蘇 ○車前子 ○丹參 ○鷄內金 ○茨
米 ○冬葵子 ○前胡 ○蘇子 ○麥棟子 ○胡椒 ○土

茯苓 ○草豆蔻 ○海人草
青苔 ○鹿角菜 ○海松 ○布海苔 ○角侯 ○白菜
藥種海草品類多シト雖モ皆僅僅ナリ今其數
稍多キ者ヲ掲ク輸出ニ供スル者ハ海人草鹿
角菜ノミ
硫黃 ○硯石 ○砥石 ○石灰
金銀銅鐵石炭山ナシ或ハ礦穴アルモ土俗採
掘ヲ忌ム
紺地縞細上布 官古島ニ出ソ ○白地縞細上布 八重山ニ出ソ ○
細縞 次米島ニ出ソ ○上布 ○中布 ○下布 ○大平布 ○三

葉布 ○洞織布 ○綉子布 ○久米縞 ○木綿 ○近郡 ○ナリ ○那
 久米島ノ産ハ經ハ絹 ○小椽縞 ○木綿ガスリ ○トナリ ○薩
 切者首里那覇及ヒ各間切ニ産ス布ト雖モ小椽縞
 ノ輸最ト此品ヲ以テ小椽縞又小椽縞赤縞薄衣白地
 以上等ハ細上布 ○芭蕉布 縞朝生練等ノ敷種アリ其
 ト品位ヲ争フ ○漆器 ○草蓆 ○棕招繩 ○赤黒枕 ○擲繩 ○磁器 ○泡
 盛米粟ナ以テ之ヲ製ス香味芳烈凡六十 ○蜜林
 酒官古八重濟一濟ハ内地ノ升ニ當ル粟ニ葉 ○
 蕃薯 耐之民間ハ盡ク ○酢 ○醬油 ○味噌 各以自家製
 スル之ヲ販賣 ○鹽豚 ○砂糖漬

輸出入部

黑砂糖 ○細上布 ○綉縞 ○小椽布 ○久米縞 ○太
 平布 ○草蓆 ○磁器 ○泡盛 ○鹽豚 ○漆器 ○枕 ○擲
 繩 ○海人草 ○鹿角菜 ○永良部鰵 ○落花生 ○盆
 栽蘇織

右輸出

米 ○大豆 ○酒 ○油 ○茶 ○蠟 ○經節 ○煙草 ○紙
 ○鱧鱈 ○干藻 ○干鮑 ○海胤 ○昆布 ○紙以下六品
 用法ニ ○素麵 ○縹綿 ○木綿 ○縹 ○麻苧 ○真岡木
 綿 ○小間物 ○鬢附 ○筆墨 ○銅 ○鐵 ○錫 ○鍋釜

○板類

右輸入

物產圖

草木蟲魚ハ内地ニ生セサル者ノミヲ掲ク凡
 ソ南島ノ卉木紅花多キニ居ル而シテ其紅色
 ミナ火ノ如シ黃胡蝶ハ花瓣ノ内部紅ニシテ
 外部ハ黄ナリ其莖ノ長サ三寸餘形胡蝶ニ類
 シ麗艶愛スヘシ羣芳中特ニ此花ヲ推シテ奇
 種トス



赤木 縮寫二十
 五分一

ウスク 縮寫二十
 五分一



榕
縮寫十分一



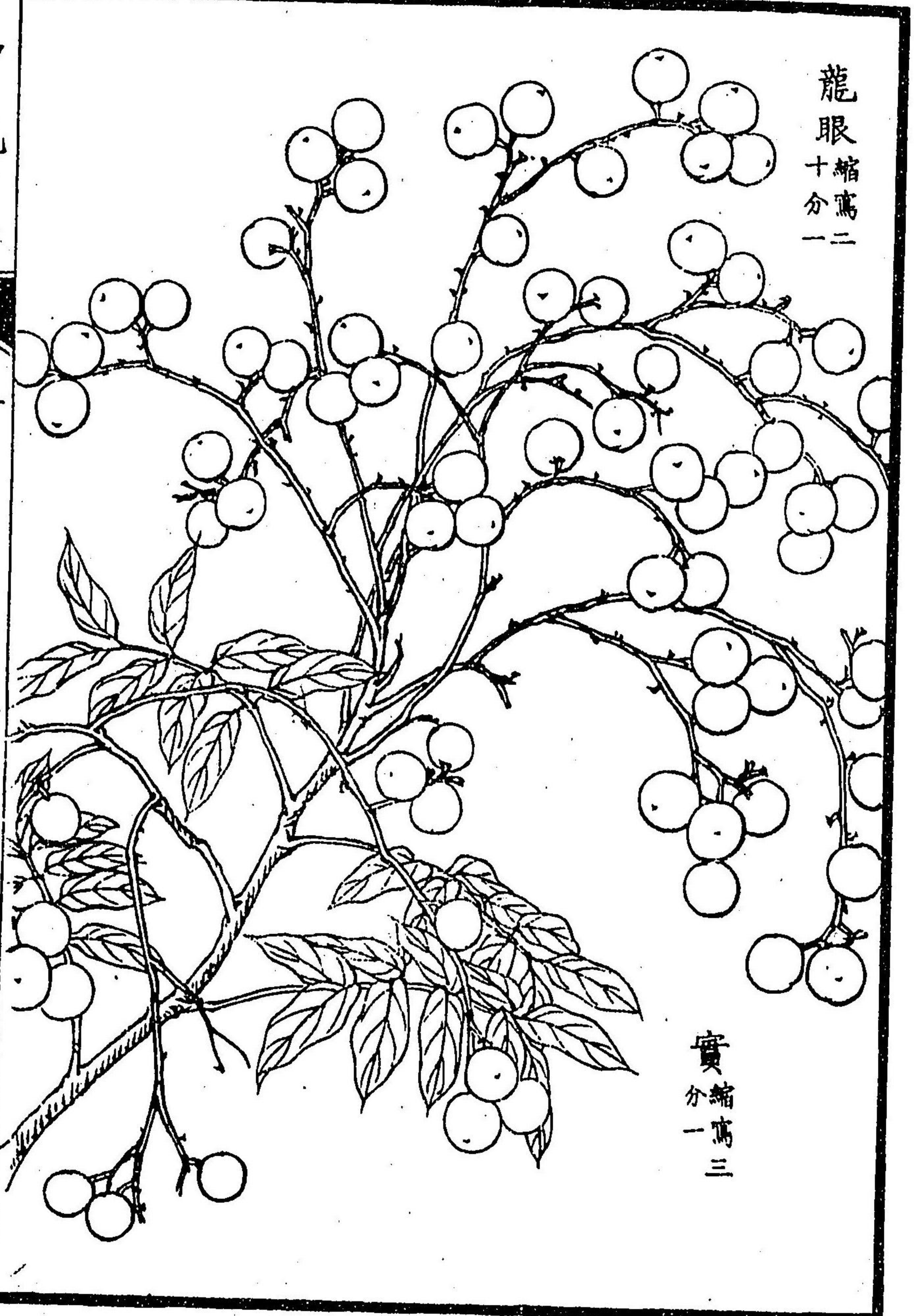
屋良布
縮寫十分一

福樹
縮寫十分一



ハシヤウシ 縮寫二十
五分一

花實縮寫三
分一



龍眼 縮寫二十
分一

實縮寫三
分一

橄欖 縮高十分一
實 縮高二分一

アマキ 縮高十分一
實 縮高二分一



木藤 縮高八分一
花 縮高二分一

黃胡蝶 縮寫八



花 縮寫二

ノロキ 縮寫五

鼠耳 縮寫二

福満木 縮寫三



ユフナキ 縮寫五
分一



佛來花 縮寫五
分一

番石榴 縮寫四
分一



梯梧 縮寫五
十分一
花 縮寫五
分一

荔枝
縮高一分二



枇杷
縮高一分十

ウダ椰子
縮高一分五



コバ
縮高一分一



荔枝 縮高二分

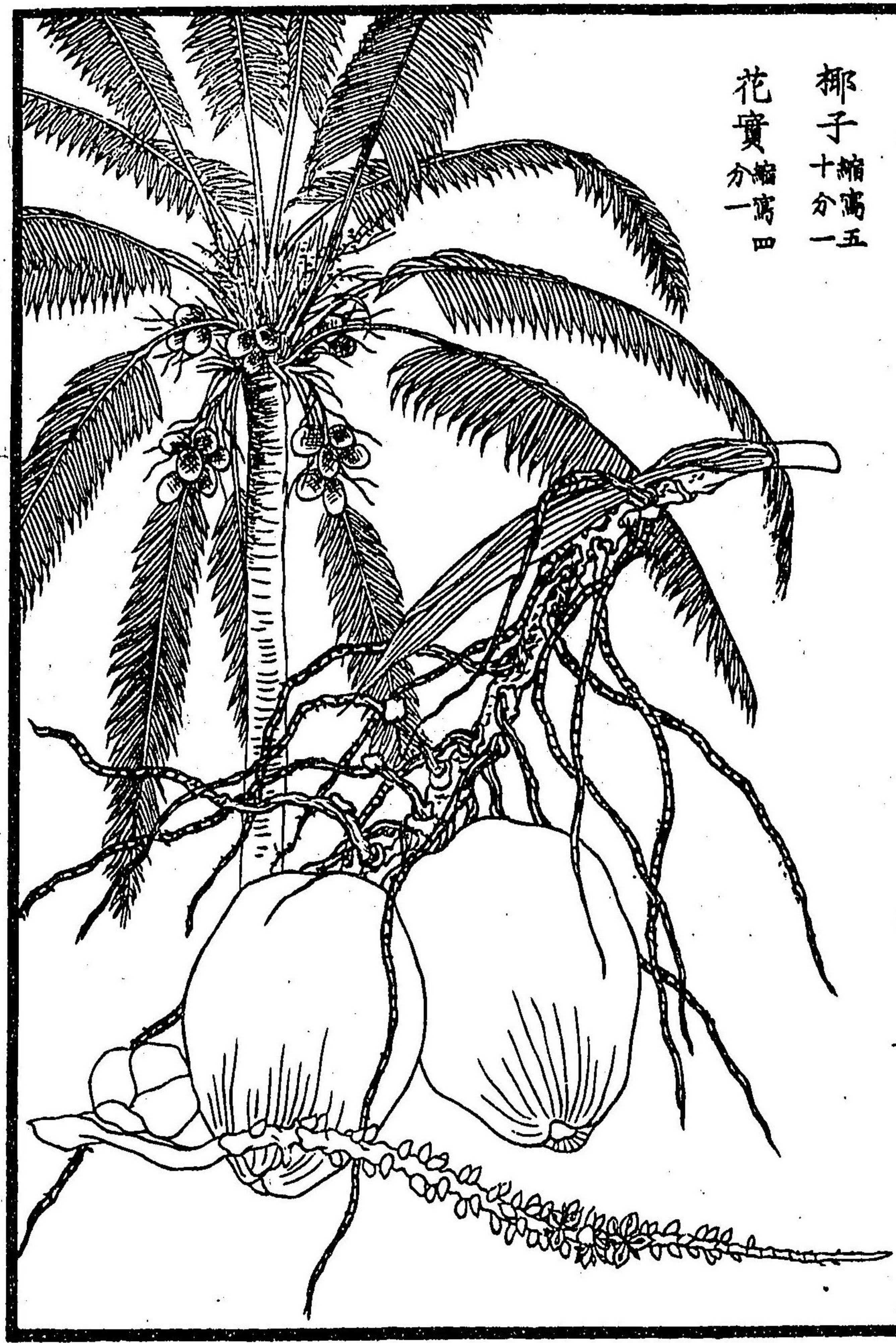
枇杷 縮高十分一



ウダ椰子 縮高十分一

コバ 縮高十分一

椰子縮高五
十分一
花實縮高四
十分一



唐芭蕉縮高十
分一



芭蕉縮高十
分一



八寸縮寫五十分一



阿且縮寫十分一

實縮寫四分一



薺金
分縮寫八

花
分縮寫五

根
分縮寫五



真麻
分縮寫四

藍
分縮寫三

紫才下 縮寫八
分一



望江南草 縮寫三
分一



午時花 縮寫三
分一



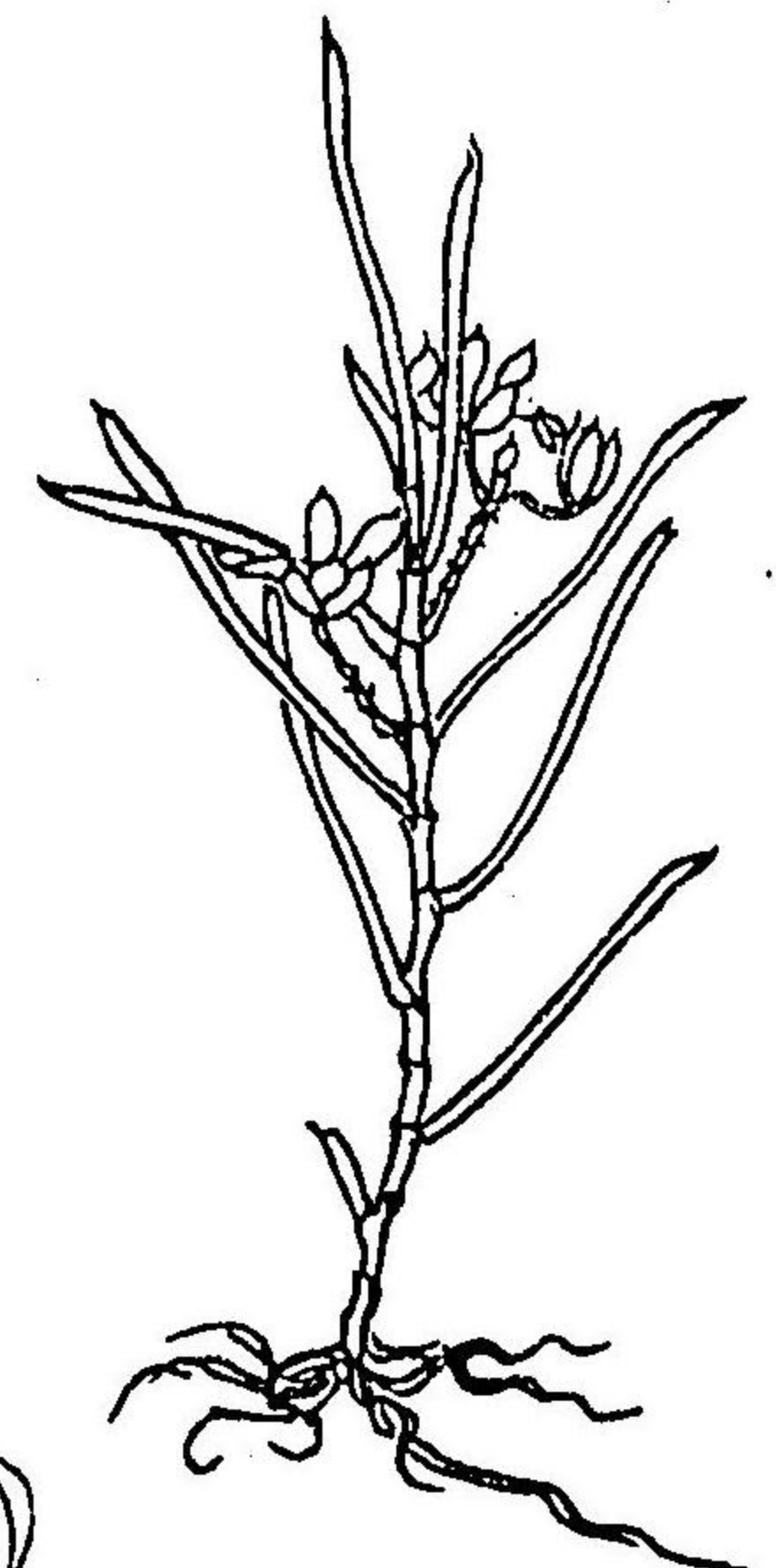
蕹菜 縮寫三
分一



甘薯花 縮寫三
分一



釵子股
縮寫三分一



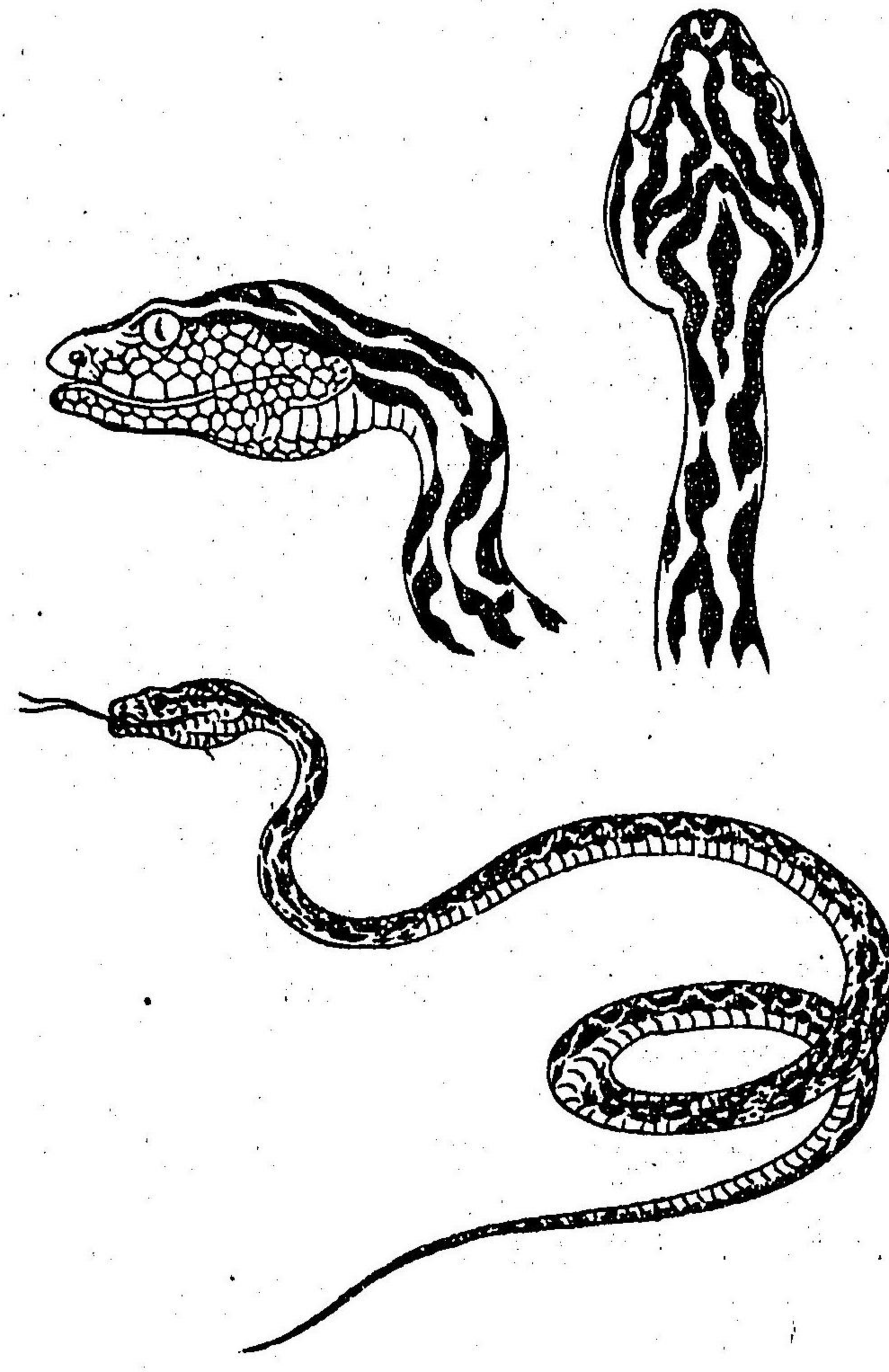
名護蘭
縮寫三分一



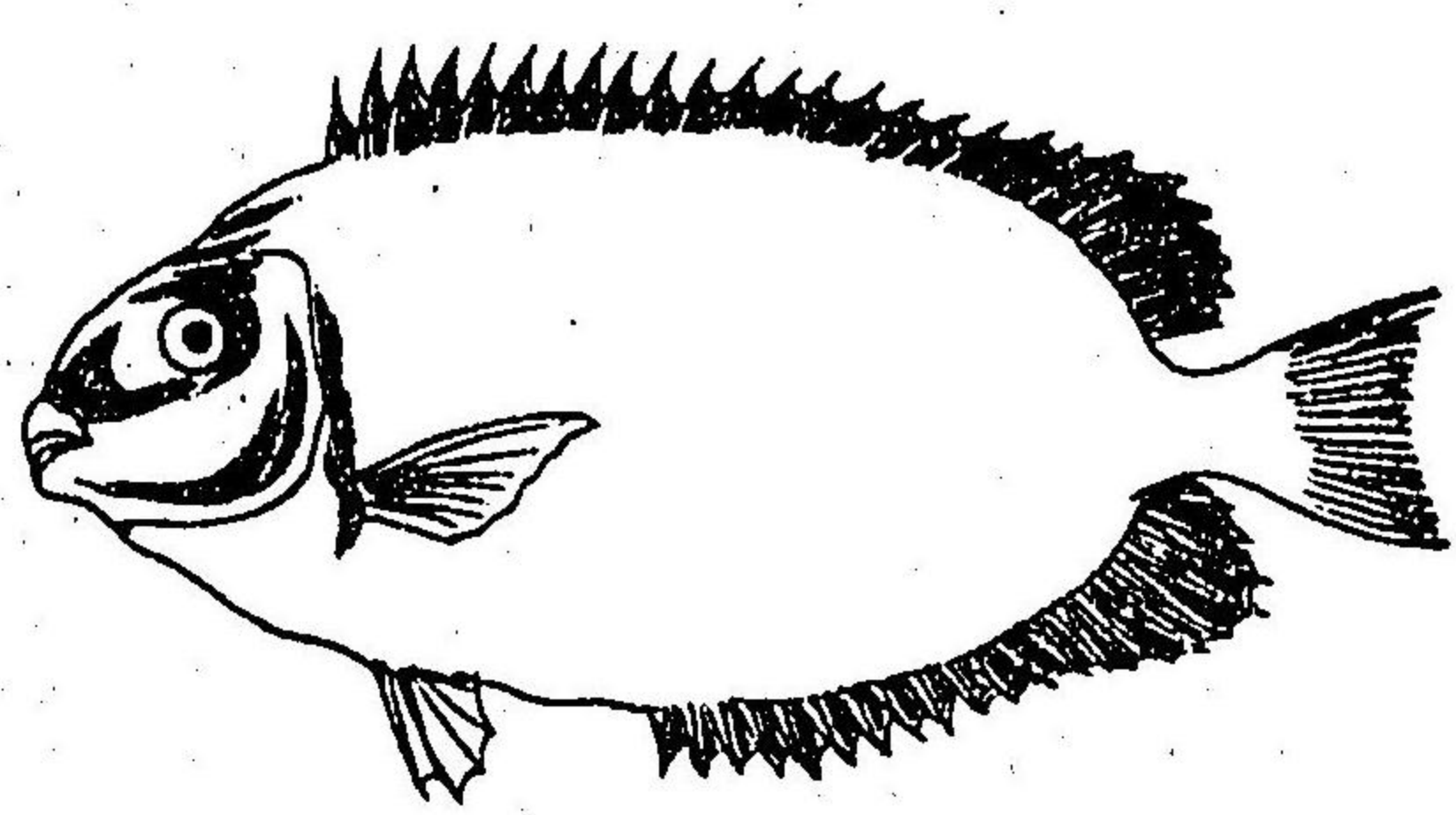
入面蘭
縮寫五分一



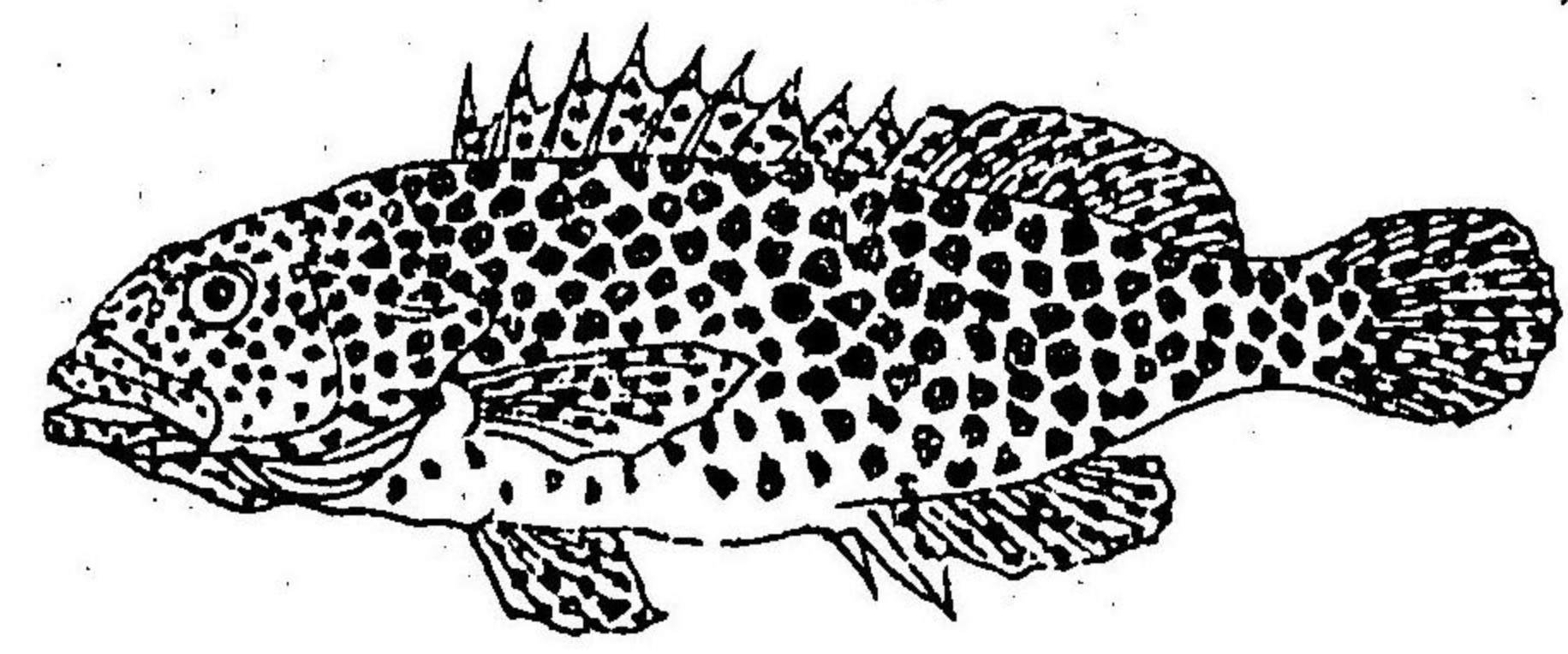
飯匕蛇
縮寫四分一



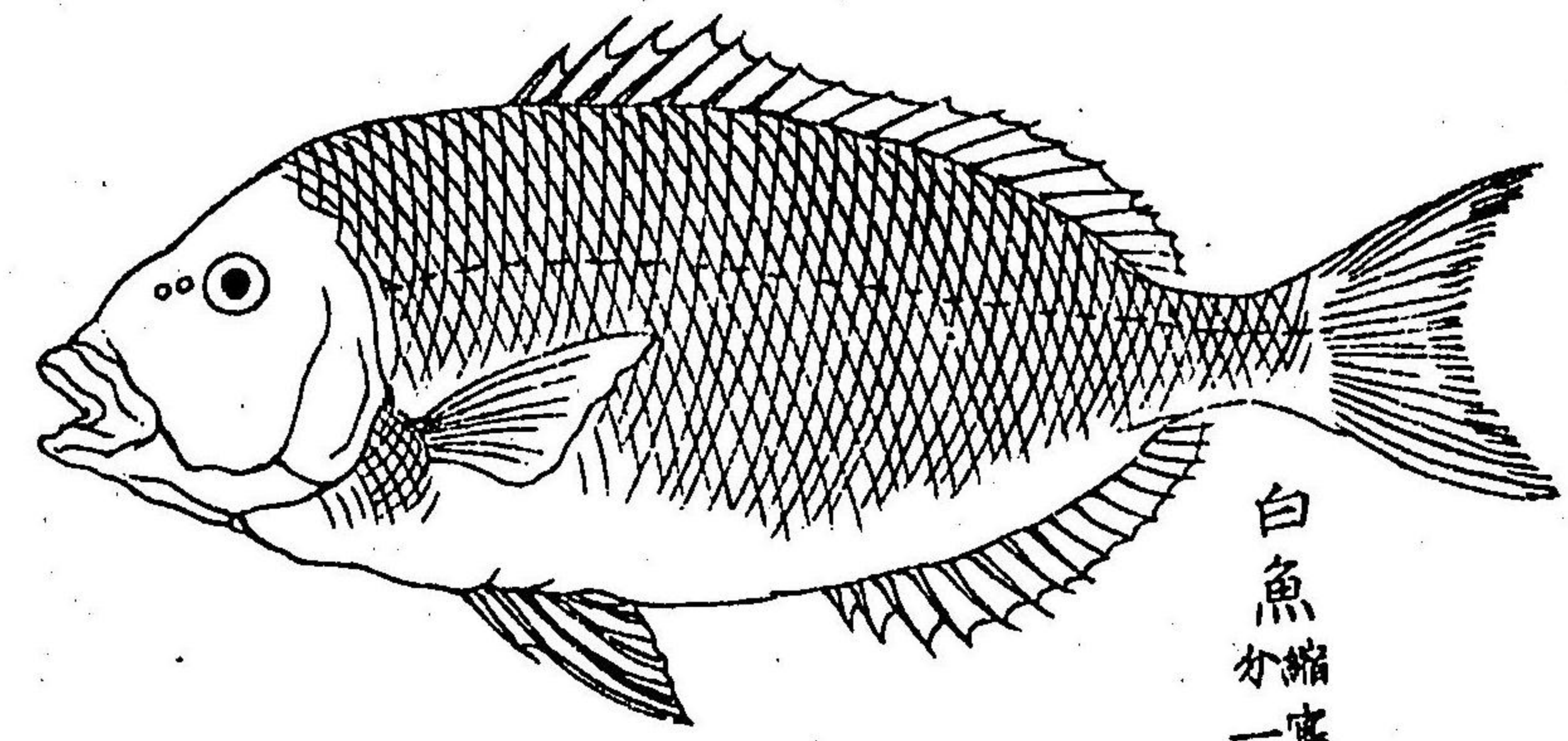
エノ魚 縮寫三
分一



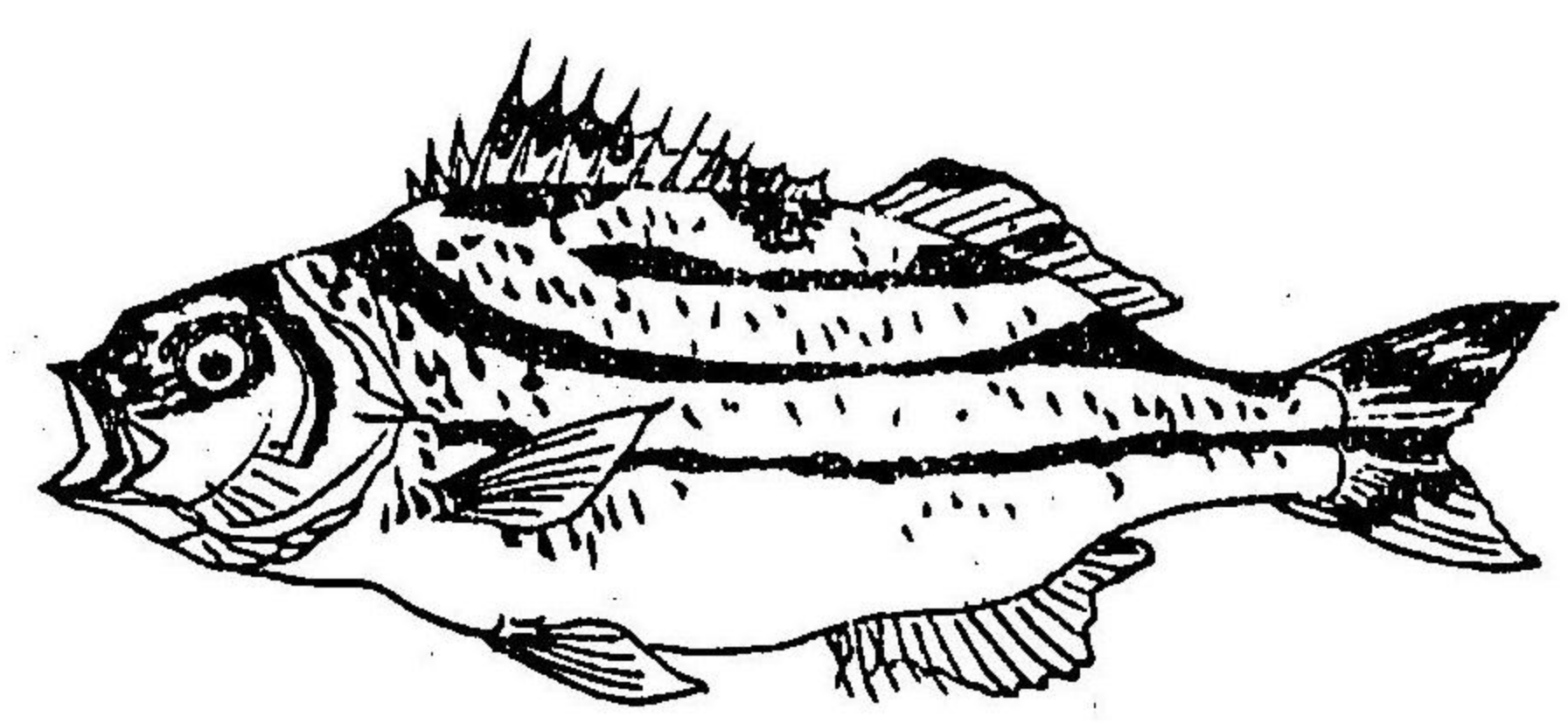
イシメバル 縮寫四
分一



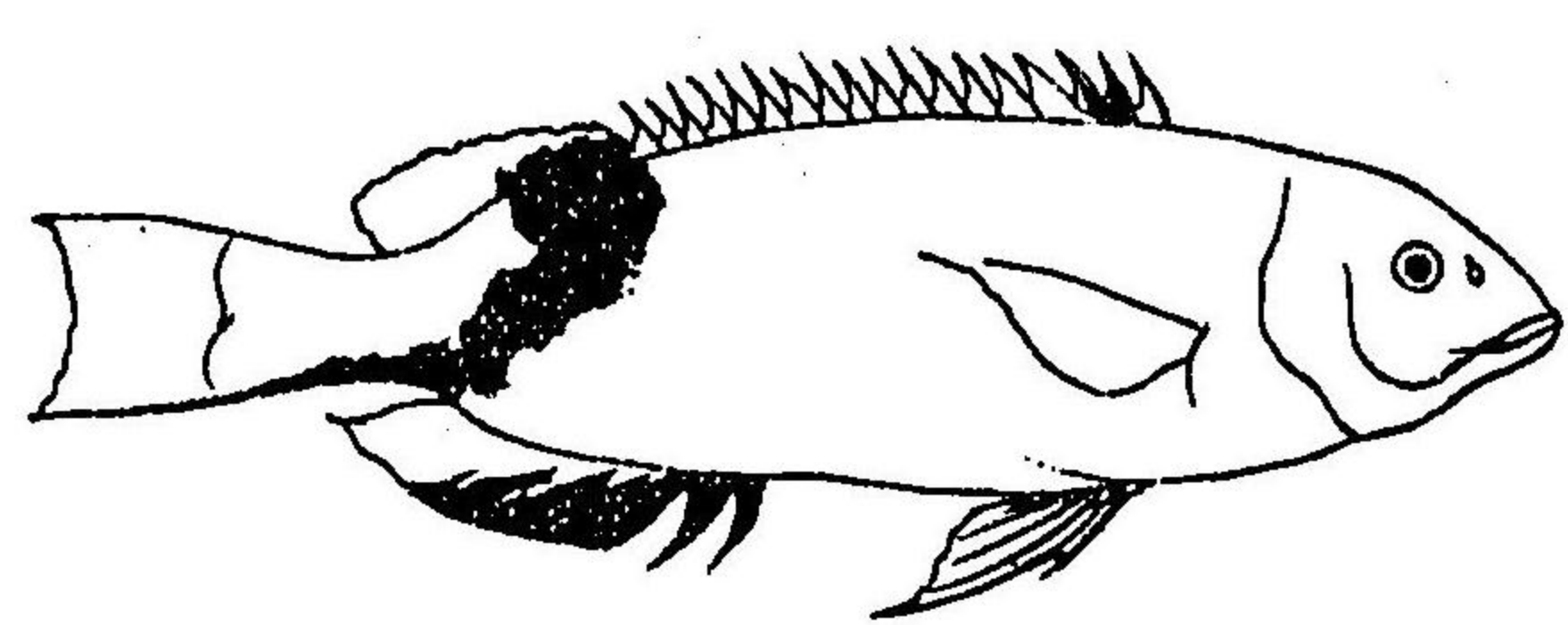
白魚 縮寫五
分一



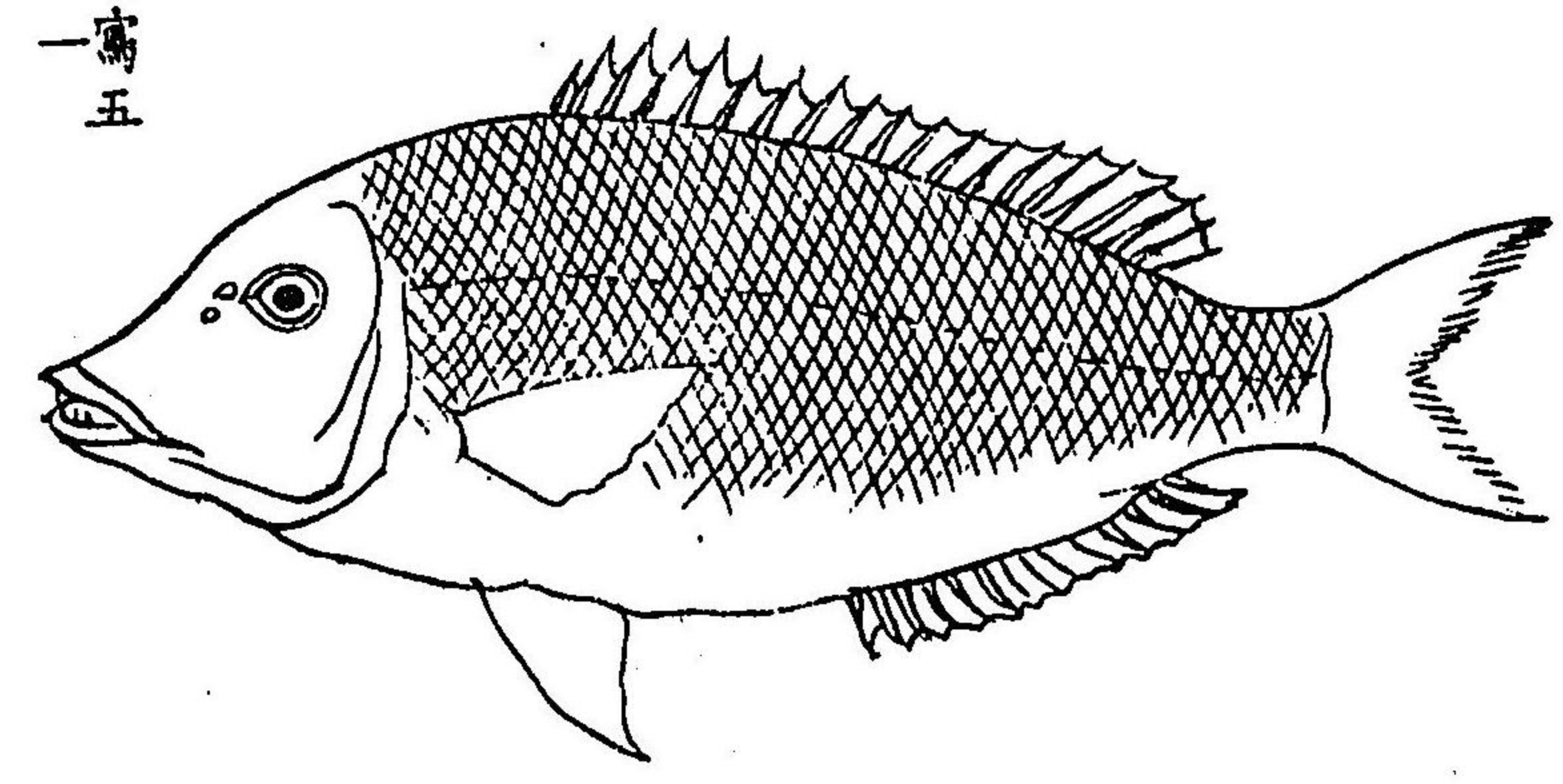
クワイユ 縮寫三
分一

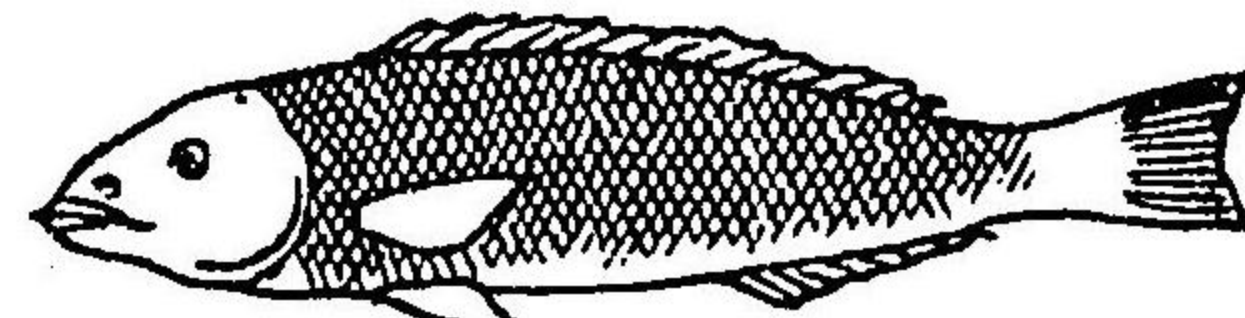


無名魚 縮寫三
分一

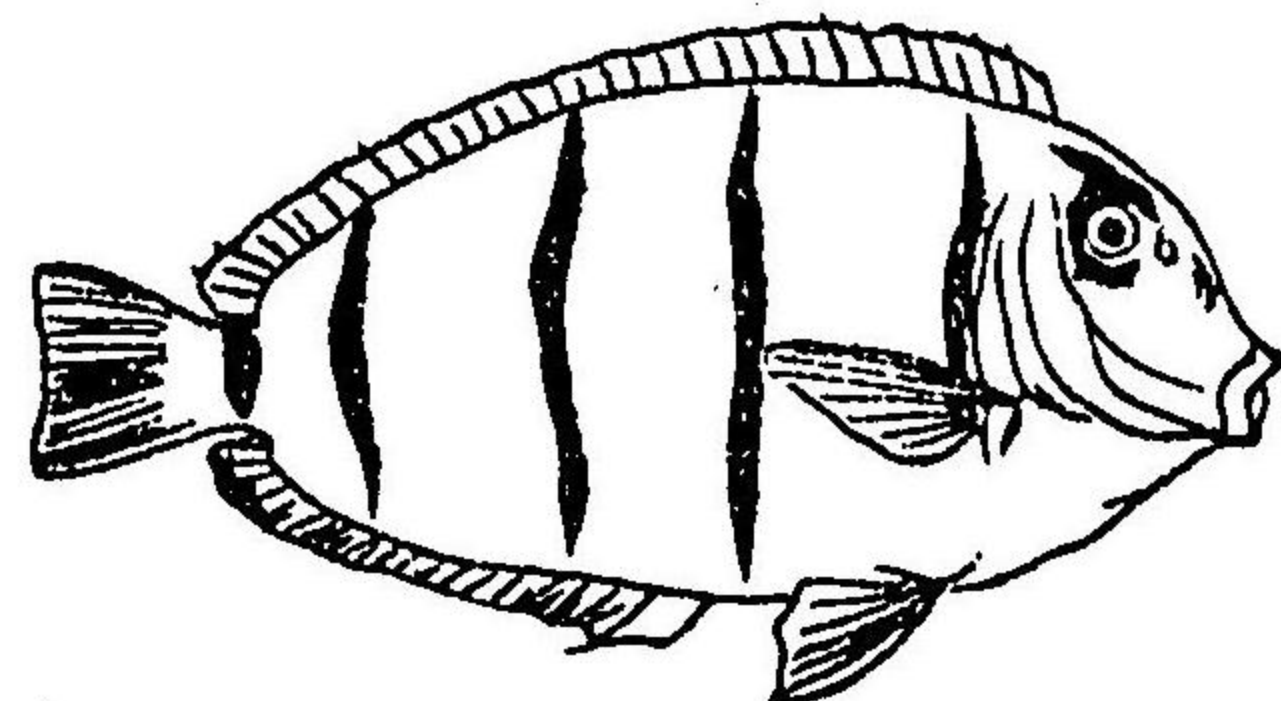


タマン 縮寫五
分一

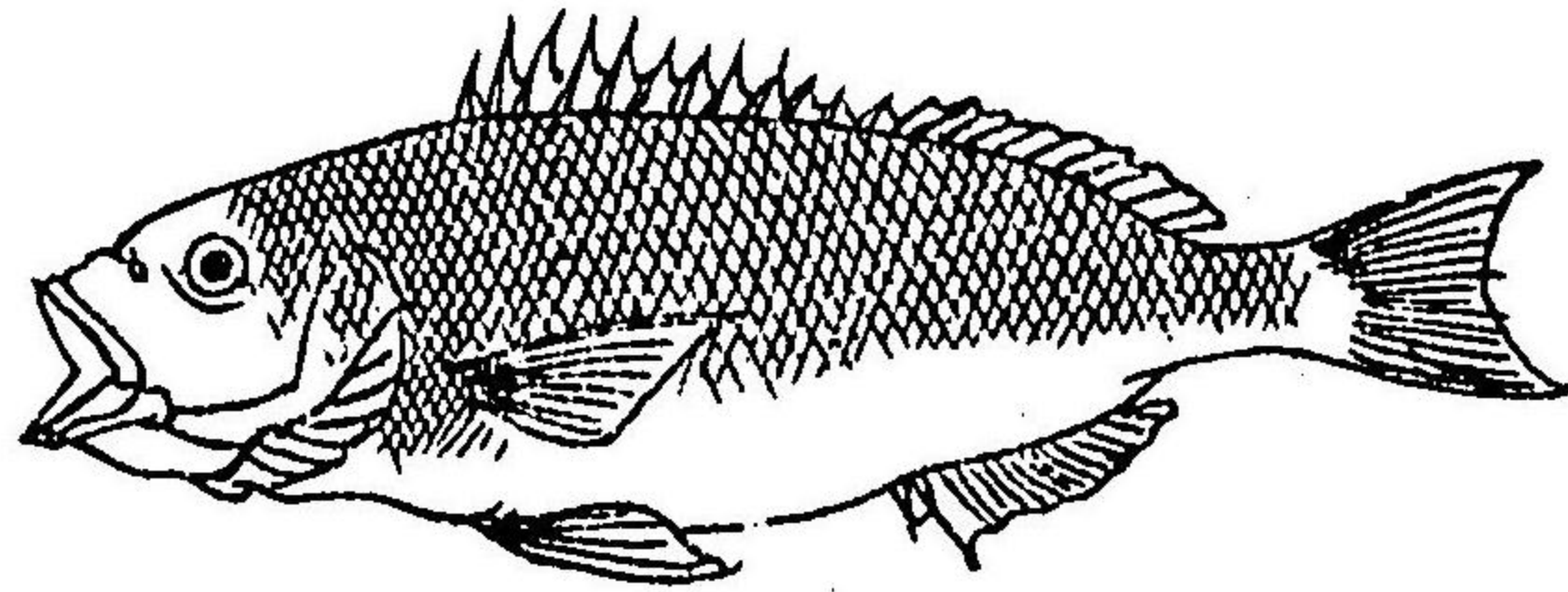




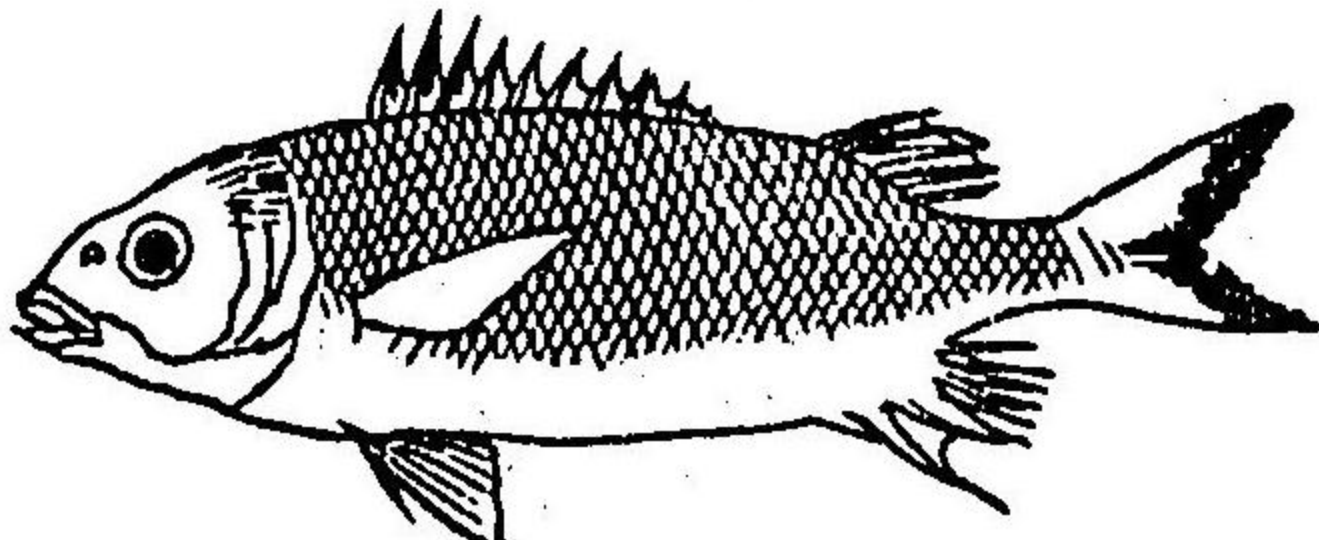
エ
ラ
ブ
チ
縮
寫
三
分
一



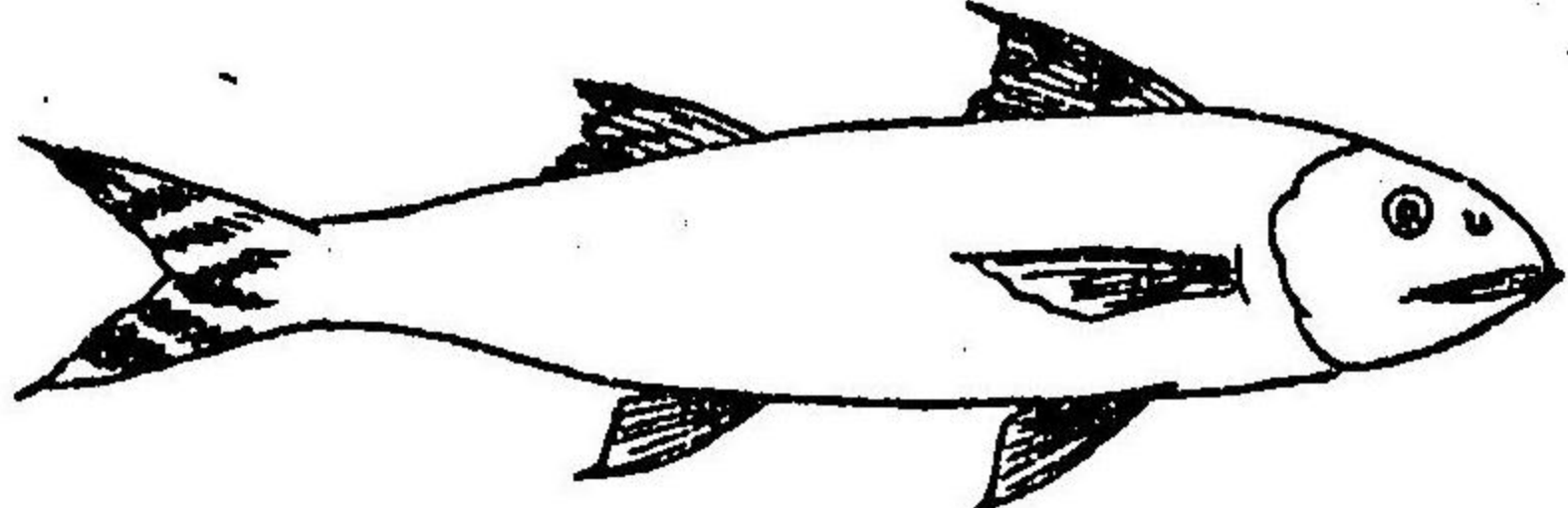
ア
ヤ
ロ
キ
縮
寫
三
分
一



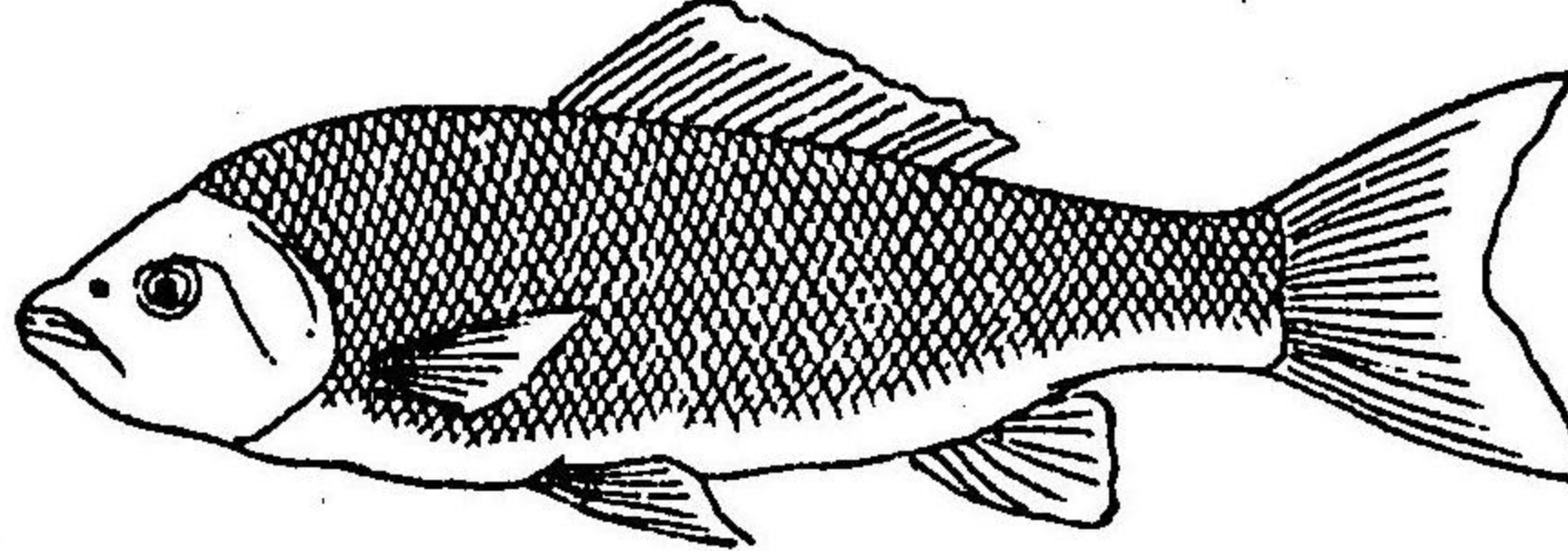
ヤ
マ
ト
ノ
縮
寫
三
分
一



赤
魚
縮
寫
三
分
一

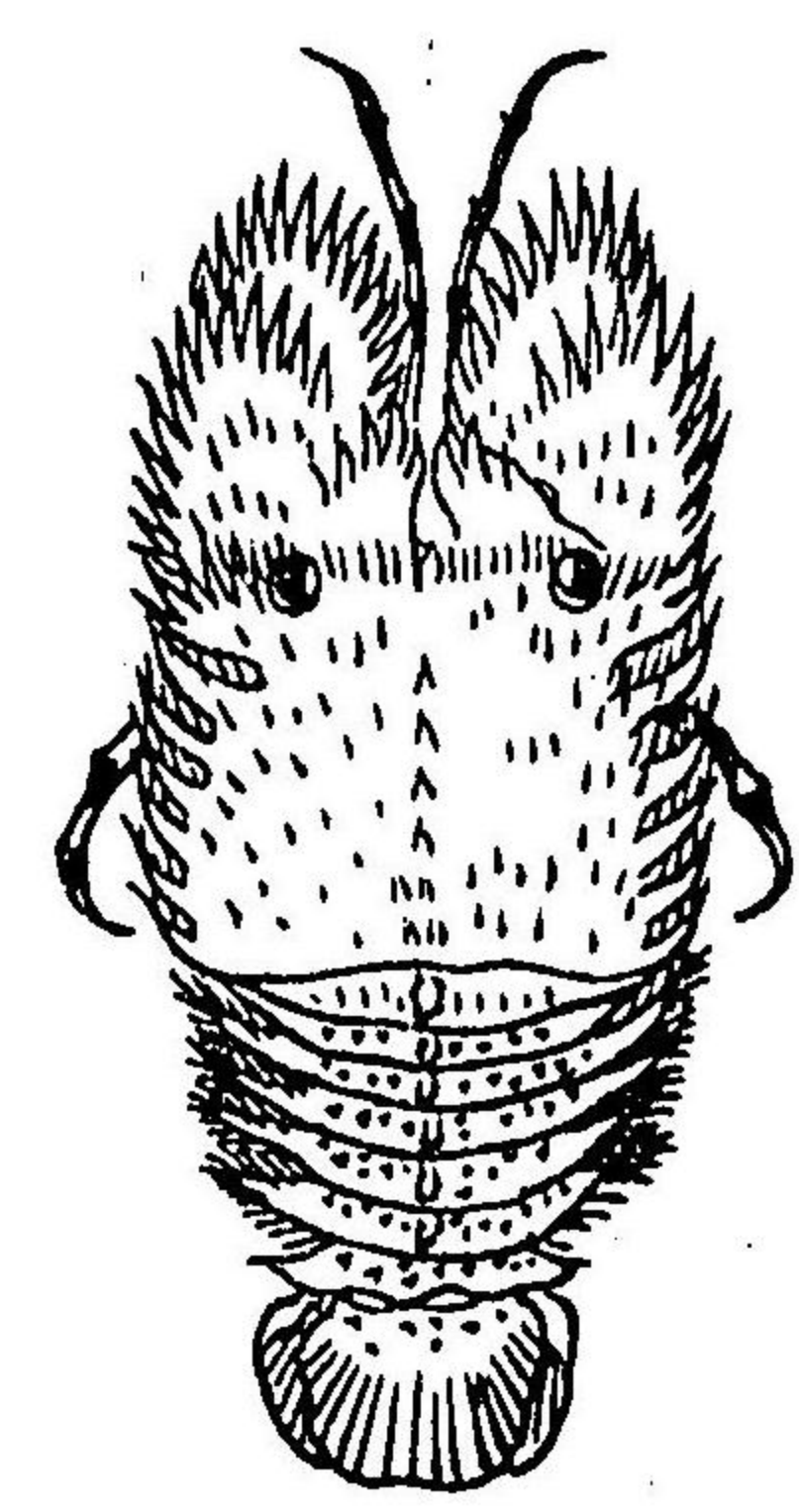


カ
タ
カ
ス
縮
寫
三
分
一

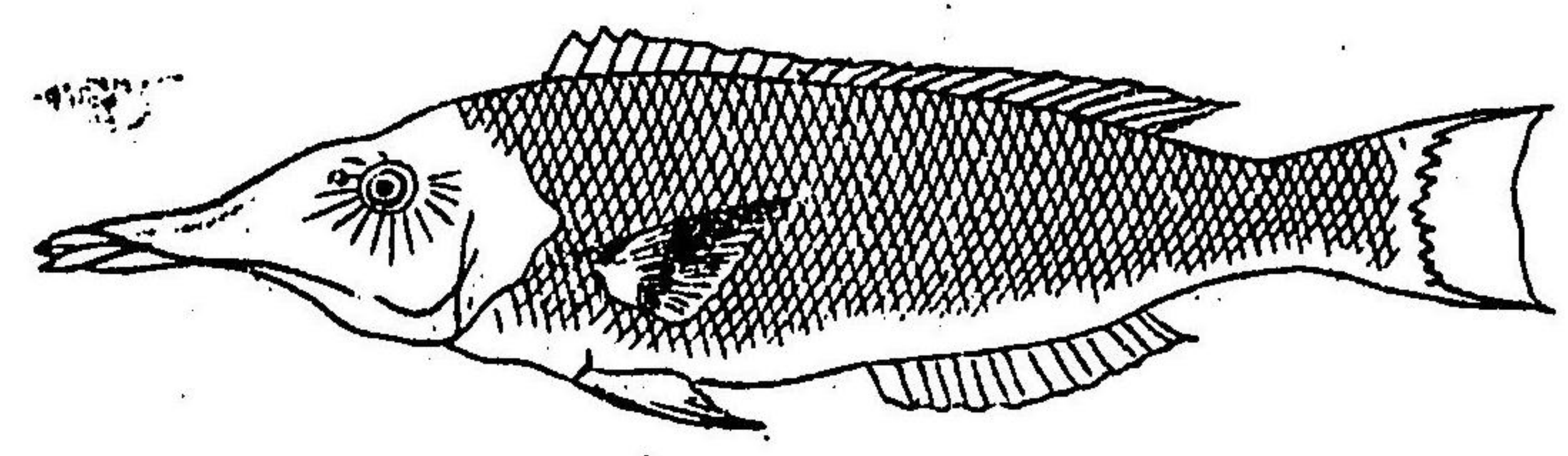


チ
ダ
ー
ユ
縮
寫
三
分
一

ワラエ縮寫一



無名魚縮寫一



政俗志

政教部

文教ヲ以テ治化ヲ敷キ些ノ兵備アルヲ無シ慶
 長役以後絶テ兵革ヲ用ヒス蓋シ海中ノ小國外
 國ニ批衡シ難ク兵ヲ備フルハ自亡ヲ招クノ基
 ナリト注意シ寸鋏ヲ帶シメス禮讓ヲ以テ兵刃
 ニ代ヘ制度ヲ嚴ニシテ下ヲ御シ柔ヲ以テ剛ヲ
 制スルノ策ヲ立ツ海上賊船ヲ防ク為ニ鹿兒島
 ニ請ヒ大小砲若干ヲ借り航清ノ船艦ニ備フル
 ノミ

農民ヲ治ムル所謂由ラシムヘキノ意ニ基ク各
 間切ノ番所ニ於テ讀法アリ其諭告書ヲ教條ト
 名ク部民ヲ集メテ懇切ニ教戒ス書意ハ倫理ノ
 條目ヨリ人人ノ職分ヲ俚解セシ者ナリ
 佛寺アレトモ獨リ葬祭ヲ掌ルノミ教法ヲ受ル
 者ナシ

文學部

學校三十

- 首里十八國學校一平等學校三那霸四〇久米村三
- 〇泊村一〇宮古島二〇石垣島二

各所ノ學校皆程朱派ニシテ孔孟ノ道ヲ講ス首
 里久米村ニ孔廟アリ國學校ハ王子以下士族ノ
 子弟十八九歳以上ノ者入學ス學則畧備ル平等
 學校平等學校ト云ノカ如シハ門闕及ヒ士族十七八
 歳以下ノ者入學シ村學校ハ士族平民六七歳以
 上ノ者入學ス久米村ハ邦訓漢音ヲ兼テ學フ長
 スルニ及ヒ清國ノ交際ニ關シ通辯ノ事ヲ司ル
 カ為ナリ
 文字ハ伊呂波ノ四十八字ヲ用フ官府俗間ノ牒
 簿書札悉皆我ト同シ門闕ノ子弟及ヒ久米村人

ハ清國ノ書法ヲ學ヒ官吏ハ總テ所謂御家流ヲ學フ

婦人ハ紡織ニ從事シ曾テ字ヲ知ル者無シ
漢文ヲ作り聲詩ヲ詠スル者アリト雖モ久米村
人ノ外僅僅數フヘシ和歌ヲ嗜ム者多ク毎月歌
會ヲ設ケ甲乙ヲ闘ハス頗ル聲調ヲ得ル者アリ
現今宜野灣朝保カ如キ殆ント妙處ニ至ル

制度部

曲尺六尺五寸ヲ一間トシ六十間ヲ一町トシ三
十六町ヲ一里トス 方六尺五寸ヲ一坪トシ三

十坪ヲ一畝トシ三百坪ヲ一反トシ十反ヲ一頃
トス

鯨尺ハ布帛ニ用フ其一尺ハ曲尺一尺二寸ニ當
ル

一合枱ハ内法リ方二寸一分五厘深サ一寸四分
七厘 一升枱ハ内法リ方四寸九分深サ二寸七
分

掛目ハ何品ヲ問ハス皆百六十目ヲ以テ一斤ト
シ千目ヲ一貫目トス

枱ハ琉球官府之ヲ造リ衡度ハ内地ノ製ヲ用フ

金銀貨ナク楮幣無ク寛永小銅錢アルノミ冊使
ノ来ルヤ預メ清國錢ヲ備ヘ滞留中之ヲ行ヒ寛
永錢ハ秘匿シテ出サス其清國へ流出シ國用乏
キニ至ルヲ慮ルナリ
布帛諸品ヲ賣買スル皆女子ナリ算法ヲ知ラス
繩ヲ結ヒテ符トナシ數萬貫ノ錢即時ニ算了シ
鎚銖ヲ差ラス積年小銅錢ノ行使ニ慣レ遽カニ
金銀楮幣ヲ施シ難キノ勢アリ
衣服冠帶輿馬履履ノ類ニ至ルマテ等級ニ應シ
各制度アリ命令普徹シ上下敢テ制ヲ踰工ス

褒賞部

褒賞條例ヲ設置シ人民ニ頒布スル
丁左ノ如シ

褒賞條例

一 國家ノ為メ身命ヲ抛チ忠節ヲ顯ス者ハ或ハ
爵祿ヲ進メ或ハ知行ヲ増シ或ハ物品ヲ與フ
ヘシ
一 篤行博學ニシテ政道ヲ補益シ世人ノ模範ト
為ル者ハ或ハ爵祿ヲ加ヘ或ハ知行ヲ増シ或
ハ物品ヲ與フヘシ

一父母ニ孝順親族中和睦シテ他人ヲ感動セシ
 ムル者ハ或ハ爵禄ヲ加ヘ或ハ知行ヲ増シ或
 ハ物品ヲ與フヘシ
 一夫死シテ婦人再嫁セス舅姑ヲ孝養シ貞節ヲ
 守ル者ハ或ハ位ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ
 本夫存生ノ者モ舅姑ニ孝順貞操ヲ守ル者
 ハ同シク褒賞スヘシ
 一官船航海ノ時衆ニ抽ンテ勉勵シ且災難ニ當
 リ身命ヲ捨テ盡カスル者ハ或ハ位階ヲ進メ
 或ハ褒賞スヘシ

一在職中職務ヲ勉勵スル者ハ評議ノ上褒賞ス
 ヘシ官ノ費用ヲ減スヘキ目途ヲ立テ其献言
 ニヨリ利益アル時ハ物品ヲ賞與スヘシ
 一諸間切諸島在勤ノ者所在ノ利益ヲ起ス者ハ
 褒賞スヘシ農民ヲ勉策シ逋租ヲ補ハシムル
 者ハ物品ヲ賞與スヘシ
 一醫道ヲ傳授シ治療其法ヲ得ル者ハ位階ヲ進
 ムヘシ
 一當國ニ無キ物品ヲ製造シ世上ノ便益トナル
 者ハ或ハ位階ヲ進メ或ハ官職ヲ授ケ或ハ物

品ヲ與フヘシ

一 藝能ヲ傳授シ世ニ補益スル者ハ或ハ位階ヲ

進メ或ハ官職ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 饑饉疾疫災殃ノ時米錢物品ヲ施與シ或ハ無

利息ニテ錢ヲ貸與セシ者ハ士族ハ位階物品

無系ノ者指平民ヲハ物品ヲ與フヘシ

一 他國船洋中ニ於テ風濤ニ遇フノ際身命ヲ抛

チ扶助スル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ

與フヘシ

一 諸間切ノ内疲弊ノ村落アリテ地頭役人之ヲ

救フノ術ヲ得ス農民ノ内ヨリ下知人ヲ命シ

其功ニヨリテ疲弊ヲ起ス者ハ或ハ越階ノ位

ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 官林ノ外土地ヲ定メ自費ヲ以テ樹木ヲ栽植

シ國用ヲ為スニ至ル者ハ或ハ越階ノ位ヲ授

ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 自費ヲ以テ道路橋梁ヲ造營シ久シキヲ保ツ

者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一 本國又ハ他國ニ於テ一事件起ル時特別ノ功

勞アル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フ

へシ

一年齡百歳以上ニ至ル者ハ或ハ位階ヲ授ケ或ハ物品ヲ與フヘシ

一流刑ニ處セシ者配所ニ於テ品行正シク貧賤ノ者ヘ物品ヲ給與シ所在ノ益ヲ為ス者ハ赦スヘシ

一流罪ノ者前非ヲ悔ヒ改心シテ所在ノ益ヲナシ或ハ近海ニ於テ難船アル時身命ヲ抛テ扶助スル者ハ赦スヘシ

刑罰部

刑罰ハ薩藩及ヒ支那ヲ斟酌シテ自ラ之ヲ制ス條目中苛酷ニ過ル者アルカ如シト雖モ之ヲ施スヤ多クハ寛慢ニ失ス今其概略ヲ左ニ掲ク

法條

- 一 祖父母父母伯叔父母兄弟外祖父母夫及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ謀殺スル者ハ磔罪
- 一 祖父母父母夫ノ祖父母父母ヲ毆ツ者ハ斬罪
- 一 祖父母父母夫等ノ死骸ヲ收斂ヒサル者ハ斬罪

但祖先ノ位牌ヲ捨ル者モ同科

一 祖父母父母夫及ヒ夫ノ祖父母父母ノ罪ヲ釀

成シテ出訴スル者ハ僉議ノ上死罪

一 祖父母父母及ヒ夫ノ祖父母父母ヲ罵詈シ其

祖父母等ヨリ出訴スル者ハ僉議ノ上死罪

一 祖父母父母及ヒ夫家ノ尊長人ニ殺害セラレ

其仇人ト私和スル者ハ重流ニ處ス

一 妻妾夫ヲ謀殺シ或ハ妻妾他人ト姦通シ姦夫

ト謀リ夫ヲ殺ス者ハ磔刑

一 君命ヲ偽傳スル者ハ斬罪

一 官令ヲ偽作シ或ハ君意ヲ増減シテ施行スル者ハ斬罪

一 王ノ印鑑及ヒ寶物ヲ盗ム者ハ終身流罪

一 城堞ヲ踰越シ擅マニ城門ヲ開閉スル者ハ終身流罪

一 政府諸局ノ官印ヲ偽造スル者ハ斬罪

一 人ヲ謀殺シ及ヒ毒藥ヲ以テ人ヲ殺ス者ハ斬罪

一 放火スル者ハ斬罪

一 人ノ墳墓ヲ發キ衣類器物ヲ盗ム者ハ斬罪

一人ノ財物ヲ搶奪シ人ヲ殺害スル者ハ斬罪
 一人家ニ忍ビ入り財物ヲ盗ム時ニ當リ其妻女
 ヲ犯ス者ハ斬罪
 一人ノ財貨ヲ盗ミ贓錢壹萬貫文ニ至ル者ハ終
 身流罪
 一人ヲ騙シ財貨ヲ佗人ニ鬻キ其財ヲ私用スル
 者ハ終身流罪
 一官物ヲ盗ミ贓錢七千貫文ニ至ル者ハ終身流
 罪
 一賄賂ヲ受ケテ法ヲ曲ケ其贓八千貫文ニ至ル

者ハ終身流罪
 一投書シテ人ヲ誹謗スル者ハ重流ニ處ス
 一邪術ヲ以テ人ヲ惑ハス者ハ終身流罪
 一家長ノ妻女ト姦通スル者ハ終身流罪
 一婦女ヲ輪姦スル者ハ無人島ニ流罪
 一婦女ヲ強姦スル者ハ終身流罪
 但女子十二歳以下和ト雖モ強ヲ以テ論ス
 一爭鬪シテ人ノ手足ヲ折リ廢人ニ至ラシムル
 者ハ重流ニ處シ養育料ヲ出サシム
 一博奕ノ類初犯ハ追放再犯ハ重流

- 一 醉狂シテ人ノ害ヲナス者ハ士族ハ寺院ニ蟄居セシメ官吏ハ免職農民ハ笞杖若クハ入牢
- 一 衣服墳墓等常制ニ違フ者ハ罪科ニ處ス罪科ハ蟄居追放笞杖枷號流罪ヲ總言ス下之ニ做フ
- 一 舟船無鑑札ニテ航海スル者ハ罪科ニ處ス
- 一 故ナクシテ牛馬ヲ殺シ賣買スル者ハ追放
- 一 穀物諸品ヲ推買シ或ハ強テ買賣スル者ハ罪科ニ處ス
- 一 推衡度量ヲ私造スル者ハ重罪ニ科ス
- 一 貸借ノ為メ人ノ妻妾子弟ヲ抵當ニ取ル者ハ

- 罪科ニ處ス
- 一 遺失物ヲ拾ヒシ者ハ七白ヲ限リ平等所ニ出スヘシ其物品ヲ筭シ七分ハ本主三分ハ拾ヒシ者ニ與フヘシ日限ヲ過キテ隱シ置ク者ハ罪科ニ處ス
- 一 蟄居追放流罪人途中或ハ配所ヨリ脱走スル者ハ本罪ニ一等ヲ加フ
- 一 發狂人ノ看護ヲ忽セニシ人ヲ傷ツケ害ヲ為スニ至ラシムル者ハ看護人及ヒ其親族皆罪科ニ處ス

一貸借ノ利子錢ハ貳割穀ハ貳割半ヲ過クルヲ
得ス過ル者ハ罪科ニ處ス

儀式部 日月四季皆舊曆ヲ以テ叙ス

正月元日藩王以下天拜畢リテ王子按司三司官
諸臣藩王ニ謁ス 二日藩王先王先妃ノ廟ニ詣
ル王子以下諸官モ亦參拜ス 七日諸官上城シ
テ佳節ヲ祝ス此日祝部僧侶モ亦上城 十一日
僧侶ニ命シ國家安全ヲ祈ラシム 十五日諸士
上城シテ藩王ニ謁ス 吉日ヲ擇ミ藩王神社佛
閣ニ詣リ國家安全ヲ祈ル

二月上丁ノ日孔廟ヲ祭リ上戊ノ日國廟ヲ祭ル

吉日ヲ擇ミ僧侶ニ命シ諸船ノ海上安全ヲ祈
ラシム 春分各家ノ廟ヲ祭ル

三月三日上巳ノ祝儀アリ諸官上城

四月一日更衣諸官上城 八日灌佛會 吉日ヲ

擇ミ田畔ノ草ヲ拂ヒ豊年祈ノ式アリ又僧侶ニ

命シ清國航海ノ海上安全ヲ祈ラシム

五月五日端午ノ祝儀アリ諸官上城是日那霸港

内ニ於テ競渡アリ那霸久米村泊村ノ三所ヨリ

舟各一隻 長廿一尺二間 廣十七尺許 出ス一舟三十四五人

ヲ載ス那覇ハ我装ヲ為シ久米村ハ清國装泊村
ハ琉装ヲ為シ每舟一人旗ヲ掲ケテ舟頭ニ立チ
一人鏡一人太鼓ヲ打ツ餘ハ左右ニ排列シテ擢
ヲ揺ス遙ニ望メハ蚊ノ水中ニ游泳スルカ如シ
午前十一時ヨリ午後三時ニ至リ港中ヲ往来シ
遅速ヲ争ヒ隙ヲ窺フテ衝突シ他舟ヲ覆ヘス疾
クシテ且ツ覆ヌ者ヲ以テ勝トス御物城島港内ノ
庫ノニ假閣ヲ設ケ藩王及ヒ世子來リ觀ル都鄙
老樺觀ル者水陸ニ充滿ス吉日ヲ擇ミ藩王神
社佛閣ニ詣リ國家安全ヲ祈ル

六月吉日ヲ擇ミ城中ニ於テ稻穂祭アリ清帝
勅書ノ拜授式アリ是月那覇ニ於テ綱引ノ戲
ヲ行ヒ以テ秋成ヲ祝ス午前十一時ヨリ始マル
三所妓樓ノアル所ノ娼妓一様ノ装ヲナシ手ニ
花枝ヲ持チ二行ニ排列シ歌舞シテ行ク繼テ那
覇四村及ヒ久米村ヨリ種種ノ物狀ヲ模造シ之
ヲ竿頭ニ掲置シ神田山王祭ノ鏡太鼓ヲ節和シ
隊ヲ分チ那覇街上ヲ巡行ス畢リテ在勤公館下
ニ於テ東村西村ノ壯丁東西ニ分レ大綱長廿六
尺廻リ九
尺強ヲ牽ク奮争數刻勝ツ者聲ヲ揚ケ負ル者

子逐ノ一三四町沖繩ノ第一壯觀ナリ街頭左右
 ニ假閣ヲ列ネ男女群集立錐ノ地ナシ
 七月十三日ヨリ十五日マテ各家祖宗ノ靈ヲ祭
 ル 十四日藩王先王妃ノ廟ニ詣ル王子以下
 諸官モ亦参拜ス
 八月上丁ノ日孔廟ヲ祭リ上戌ノ日國廟ヲ祭ル
 秋分各家ノ祖廟ヲ祭ル
 九月九日重陽ノ祝儀アリ諸官上城 吉日ヲ擇
 ミ藩王普天間宮ニ詣ル
 十月一日更衣諸官上城

十一月冬至藩王天拜畢リ王子以下ノ諸官藩王
 ニ謁ス
 十二月八日僧侶ニ命シ國家安全ヲ祈ラシム
 二十七日歳暮ノ祝儀アリ祝部僧侶上城 除夜
 賀歳ノ餽饗ヲ供備ス
 在勤官負ノ初メテ藩王ニ面スルヤ日ヲ期シ禮
 服ヲ着シ首里ノ客舎ニ抵ル午後二時書院奉行
 來リ迎フ第三門ニ入レハ樂人樂ヲ奏ス攝政三
 司官以下門外ニ迎ヘ藩王禮服ヲ着シ聽事ニ出
 テ迎ヘ先導シテ正殿ニ至ル主客位ヲ分テ坐ス

侍臣橐盤ヲ捧ケ来リ献酬禮始ル此時樂人樂ヲ
奏ス儀畢リテ小憇常服ヲ着シ奥書院ニ至ル藩
王出ツ臺上三番叟ノ造リ物ヲ備ヘ土器ヲ置ク
茶菓酒肴出ツ献酬始マル時座樂起ル門闕子弟
琉使ノ幕府ニ朝スル樂童子樂童子世子出ツ又献酬ス
凡ソ茶ヲ供シ肴ヲ備ヘ酒ヲ行ル皆門闕ノ子弟
ヲ用フ平常小笠原流ノ故實ヲ學ヒ坐作進退頗
ル觀ルヘシ官負ノ任滿テ歸ルヤ藩王祖筵ヲ崎
山別墅ニ設ク其儀城中初見ノ時ヨリ畧ス是日
久米村ノ樂人明國ノ俗樂ヲ奏ス

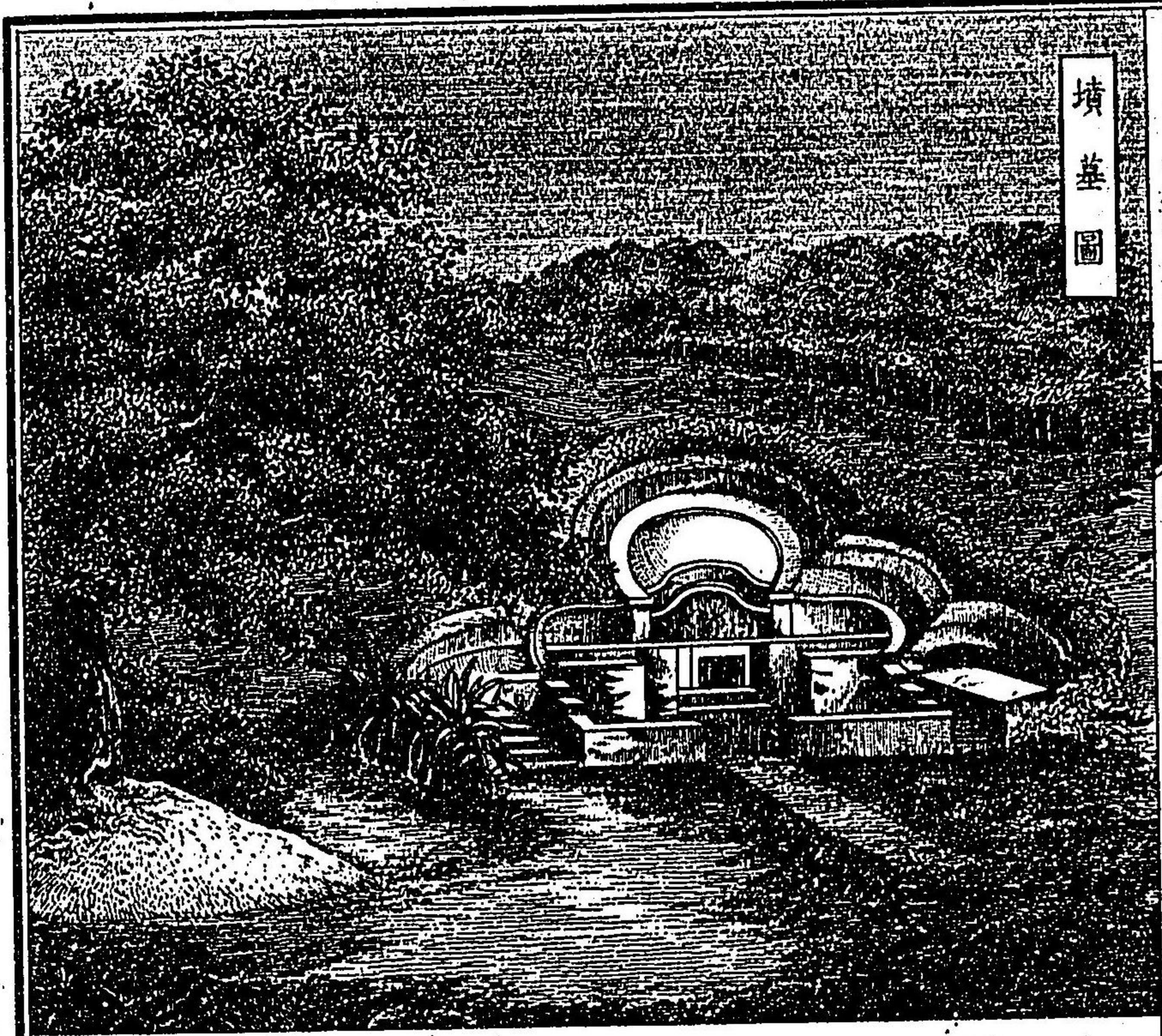
風俗部

人氣温順儉樸舊章ヲ固守シ新シキニ移ルヲ欲
セス堅忍久シキニ耐ルノ質アリテ一敗沮喪ノ
病ナシ下等ノ農民ニ至リテハ弊衣徒跣矮屋ノ
土間ニ起卧シ野蠻ノ風ヲ免レスト雖凡農事ニ
勉勵シ曾テ勞苦ノ色ナシ山頭ヨリ海畔ニ至ル
マテ開墾シ耕耘栽培遺漏アル一無シ官制令ヲ
設ケ毎戸三四頭ノ羊豚ヲ畜ハシメ其糞汁ヲ蓄
ヘ田圃ノ培養トス數ヲ闕ク者ハ贖錢ヲ出サシ
ム士商ハ男逸シ女勞ス婦人絃歌ヲ善スル者少

シ男子ハ貴賤ト無ク歌舞ヲ為ササル者ナシ
 乘馬ヲ好ミ農人モ善ク馬ヲ馳ス各間切ニ馬埒
 アリテ二三月間舊曆ヲ以テ算スニハ群馬ヲ會集シ之
 ヲ驅馳シテ娛樂ス是ヲ馬寄ト稱ス此馬埒ハ獨
 リ馬ヲ調スル為ノミニ非ス各地多クハ天水田
 ナレハ收穫ニ便ナラス故ニ刈取りシ稻ヲ埒中
 ニ曝ス且秋成ノ後各村ノ男女馬埒ニ集リ一年
 中農務ノ勤惰作毛ノ多少ヲ比較シ甲乙ヲ定ム
 甲ヲ得ル者ハ賞ヲ受ケ最下ノ者ハ罰ヲ蒙ル
 夫婦相愛シ平民ト雖モ再嫁スル者稀ナリ

士族ノ女ハ親戚ノ外妄リニ人ニ面セス途上之
 ニ逢ヘハ傘ヲ以テ面ヲ掩フテ過ク鹿兒島官吏
 ノ在勤スル者其宅ニ寓スル三年家中ノ婦女ヲ
 見サルニ至ル
 婦人十六七ニ至レハ手背ニ黥ス大島德之島喜
 界島モ亦同シ
 射ヲ好ム者アリ武備ノ為ニ非ス專ラ的中ノ多
 少ヲ爭フノミ
 圍棋ヲ好ム現今上里親雲上ノ如キ國手ノ稱アリ
 屢清國ニ到リ名家ト技ヲ闘ハシ未タ一敗ヲ

墳墓圖



取ラスト云
 葬式ハ一種ノ異制
 ナリ人死スレハ屍
 ナ土器ニ入レ墓地
 石室中ニ藏メ三年
 ニ至リ其屍ヲ洗ヒ
 遺骨ヲ別器ニ入レ
 更ニ之ヲ墳塋中ニ
 藏ム故ニ墓地定制
 アリ士族ハ方十二

間農商ハ方六間周圍石ヲ疊ミ之ヲ造ル遙望ス
 レハ倉庫ニ似タリ貧極レハ墓地ヲ賣ル一墓地
 數百圓ニ至ル者アリ
 官吏ノ遠地或ハ那霸ニ抵ル馬若クハ輿ニ乘ル
 在勤官吏ノ首里ニ赴クモ亦然リ輿ハ昇竹ニ至
 ルマテ総テ竹ヲ以テ製ス其製頗ル精巧ニシテ
 輕便ナリ輿丁跣足阪路ヲ往來スル其疾キト飛
 カ如シ首里那霸ノ道路
 盡ク石ヲ布ク

言語部

言語ハ今日ニ至リテハ一種ノ方言ノ如シト雖

モ細カニ推究スレハ多クハ本朝古言ノ轉訛ヒ
シモノナリ藩人本朝ノ事ヲ知ル者ハ亦之ヲ諒
知ス今之ヲ分拆スレハ十中六分我古言ニシテ
三分ハ方言一分ハ支那ヨリ来ル者トス宮古島
八重山島古言最モ多キニ居ル

飲食部

宴樂ヲ好ミ善ク酒ヲ飲ム酒ニ數種アリ泡盛最
モ盛ニ行ハル之ヲ湯ニ和シテ飲ム湯酎ト名ク
然レ氏婦人ハ古ヨリ飲酒ヲ禁シ終ニ習俗トナ
リ苦勸スレ氏杯ヲ把ラス娼妓ニ至テモ亦然リ

四民共ニ雜穀及ヒ蕃薯ヲ以テ常食トナシ米稻
ヲ食スル者至テ少シ殊ニ肉食ヲ尚フ首里那霸
ノ市上毎朝豚ヲ屠ル各二百余頭牛ハ一二頭豚
膏ヲ以テ野菜類ヲ熬リ以テ朝夕ノ饌供ニ備フ

居宅部

門地ノ人ハ首里ニ居住シ士族ハ首里那霸泊村
等ニ散居ス久米村ハ閩人ノ遺種ニシテ皆士族
ナリ
市街二一ハ首里ノ真和志村町畑村ノ境ニ在リ
一ハ那霸ノ東村ニアリ

家作園池我ト太異ナシ間マ支那風ヲ學フ各家ノ門及ヒ聽事ノ兩柱聯句ヲ朱紙ニ書シテ之ヲ貼ス其句ハ同逢堯舜世共樂太平春ノ類ナリ颶風多キヲ以テ屋舎ノ周圍石ヲ疊ミテ垣トナス屋宇低ク柱礎大ニ樓閣極メテ少シ其室ニ入ルヤ必ス坐ス絶テ椅子案等ノ設ケナシ娼家ト雖モ四圍石ヲ疊ミ士商ノ家ト異ナルヲ無シ

醫療部

醫術ハ支那ノ古法ナリ好テ劇劑ヲ用ヒテ治療ヲ施ス土人之ニ安ンシ他ノ藥方ヲ願ハス往年

英人伯德令此地ニ在ルヲ數歲醫法ヲ廣メント欲シ其功驗ヲ説キ百方之ヲ勸レ凡一人モ應スル者ナカリシト云フ

娼妓部

娼樓凡ソ三所辻村娼妓凡千渡地同凡七中島同凡

三百ト云フ皆那霸ノ内ニ在リ辻村ヲ上等渡地

ヲ中等中島ヲ下等トス妓性概テ質直樸素悻性善ク怒リ嬌媚ヲ知ラス絶テ娼妓ノ態無シ内地ノ商賈此ニ來ル必ス一娼ヲ迎ヘ朝夕ノ事ヲ委ネ且商事ヲ主管セシム歸國後娼妓其受托セラ

レシ物品ヲ賣買スルニ貴鬻賤估善ク受托ヲ守
ル重来ノ日附托中ノ事ヲ報ス出入明晰毫モ偽
騙誤謬ナシ習俗自然ニシテ特行ニ由ルニアラ
ス亦矯飾ニ出ルニアラス

沖繩志卷二終

